

第5回 入江地区生活道路 安全対策協議会

平成30年8月

静岡市

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

議題1 これまでの振り返り

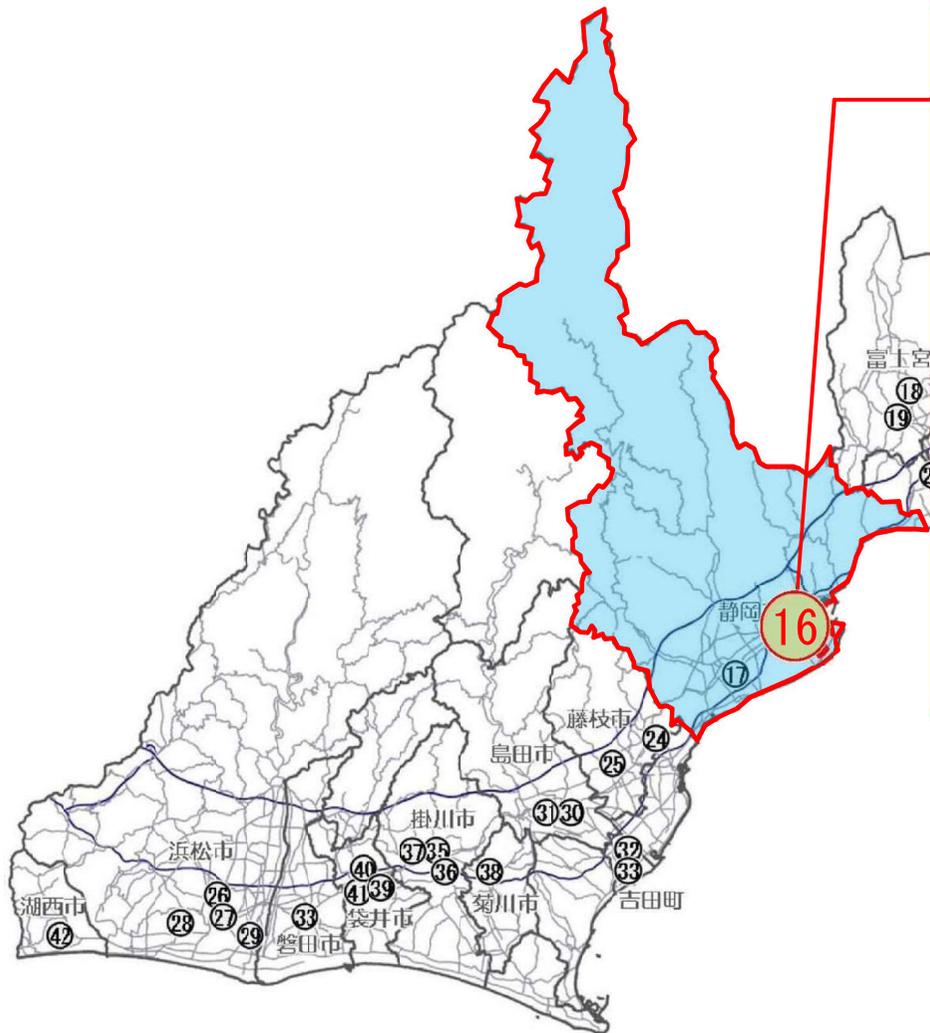
1. 生活道路における安全対策実施の背景

- H28年度に県内42地区が生活道路対策エリアとして国に登録
- 国土交通省が参画する静岡県のモデル地区

清水区入江地区

- 平成27年よりゾーン30対象地域に指定
- 静岡市内の中で生活道路の事故が多発
- 幹線道路から生活道路への抜け道利用を確認
- 外周道路を管理する国土交通省が参画するモデル地区

地域のみなさんとの協働によって
今後の具体対策を検討

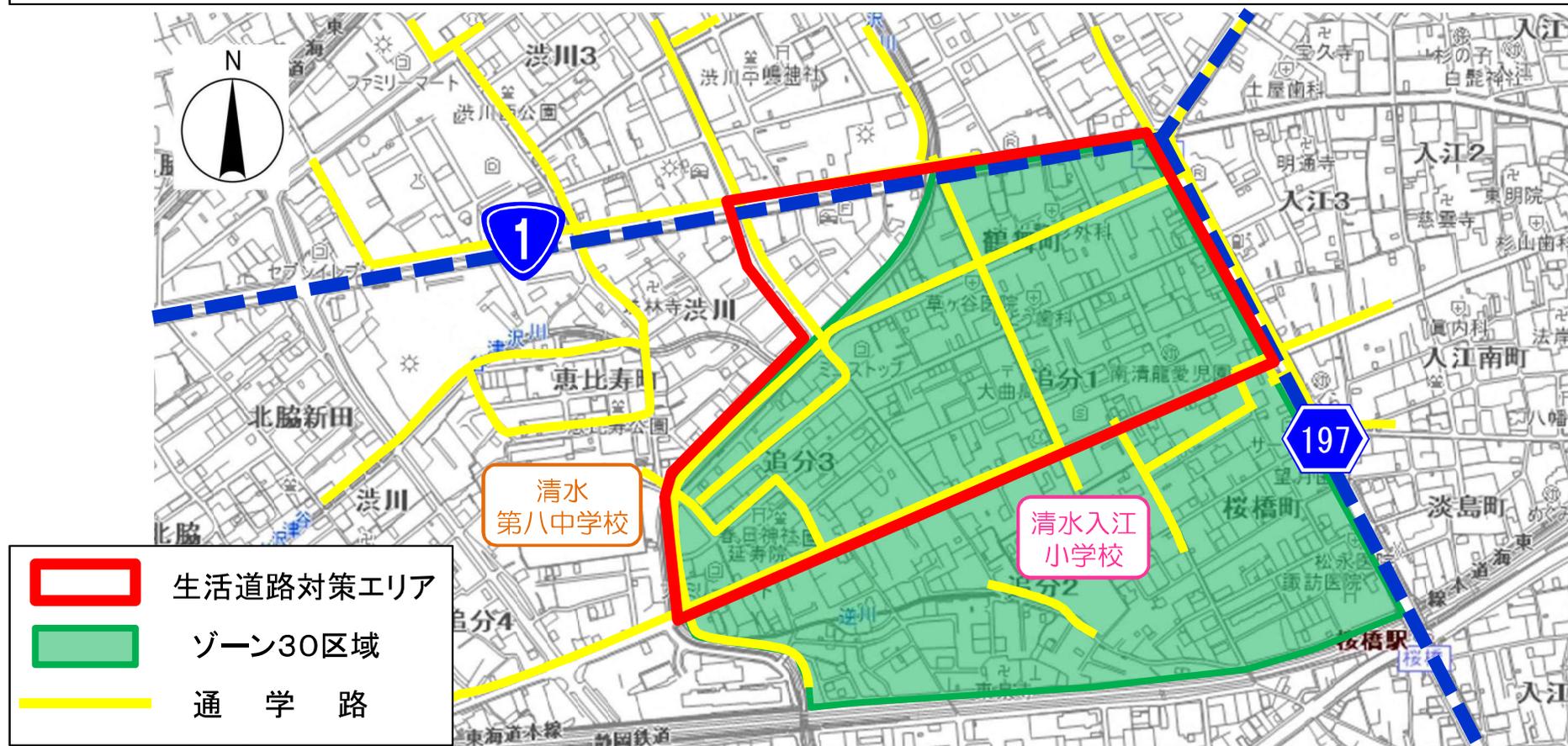


出典：静岡国道事務所HP

(<http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukoku/torikumi/anzen/safety-measure.html>) 1

2. 入江地区生活道路対策エリア

- エリア内で事故発生件数が多い(3年間で66件)
- 幹線道路(県道、国道1号)に囲まれている
- エリア内がゾーン30区域と重なっている
- 小、中学校が隣接しており、通学路が存在する



3. 交通安全対策推進体制の確立

国交省、警察、静岡市及び地域が連携して生活道路を推進するため、「入江地区生活道路安全対策協議会」がH28.10に設立。

地域のみなさん
学校関係者

静岡市

入江地区 生活道路
安全対策協議会

警察

国土交通省

■協議会員（平成29年11月末時点）

●地域のみなさん

- ・入江地区連合自治会
- ・自治会：入江三丁目、大曲町、鶴舞町、追分1丁目/2丁目/3丁目/4丁目、桜橋町、渋川南、入江南町
- ・入江地区交通安全会
- ・入江地区交通安全推進本部
- ・市議会議員

●有識者 埼玉大学大学院 准教授

●学校関係者

- ・清水入江小学校
- ・清水入江小学校PTA
- ・清水第八中学校
- ・清水第八中学校PTA

●警察

- ・静岡県警本部 交通規制課
- ・静岡県警 清水警察署 交通課 交通規制係

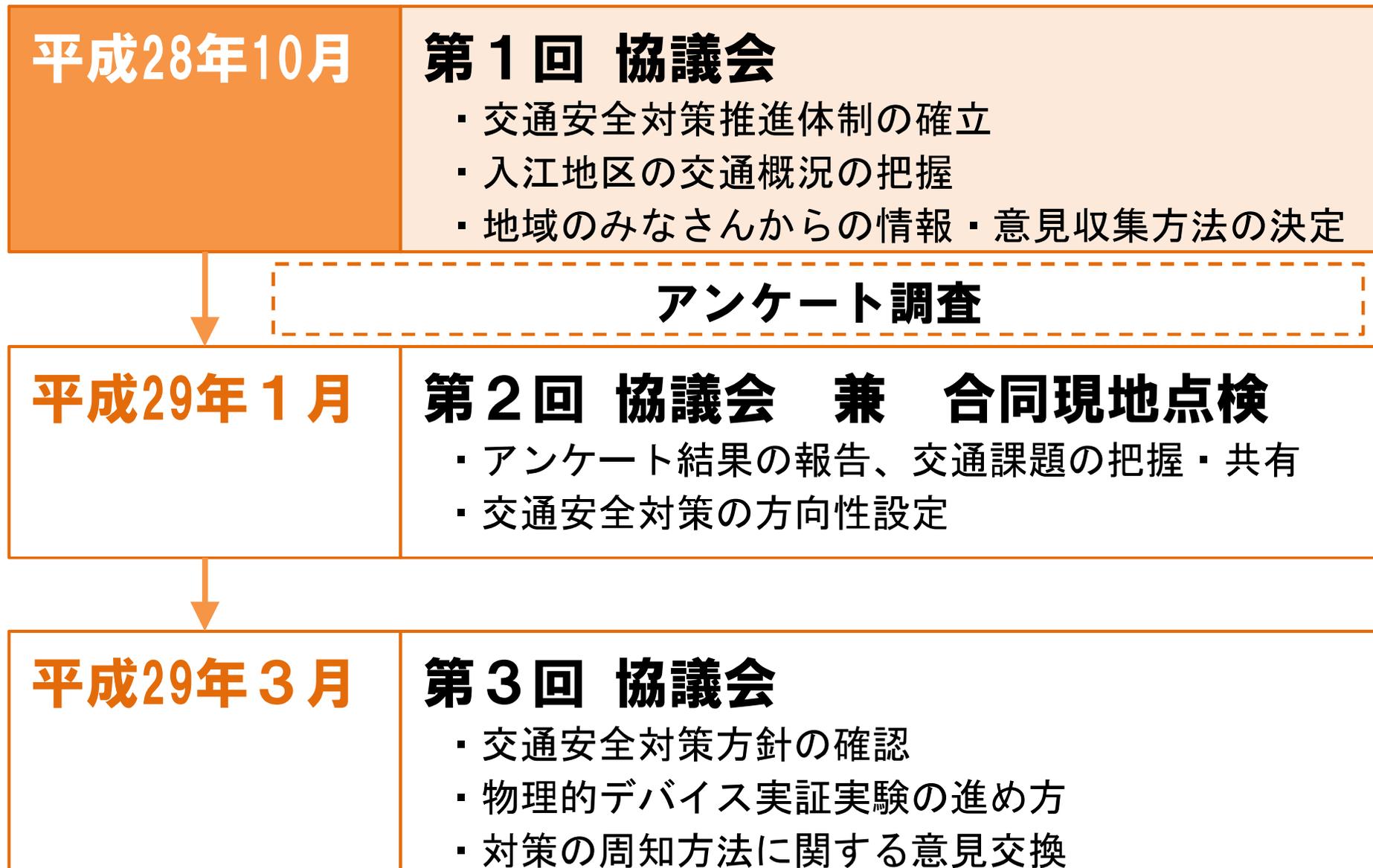
●静岡市

- ・道路保全課、学校教育課、生活安心安全課、清水区地域総務課、清水道路整備課

●国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

4. 協議会の実施状況

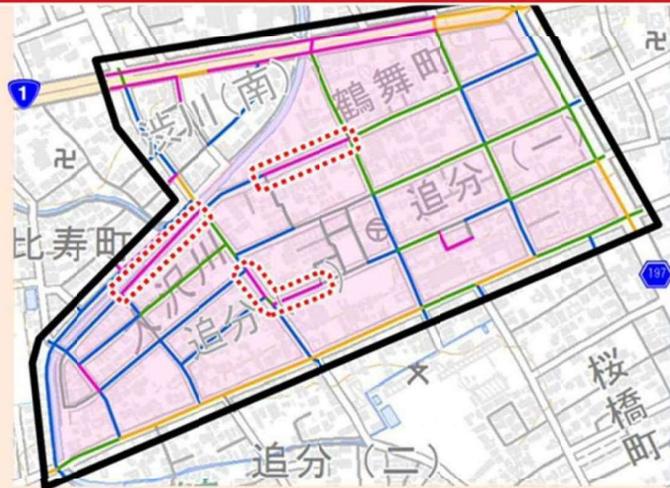
(1) 第1回協議会



4. 協議会の実施状況

ETC2.0から得られた情報の確認

時速30kmを上回っている区間



急ブレーキが発生する区間



第1回協議会の様子



抜け道として利用されている主な経路



4. 協議会の実施状況

(1) 第1回協議会

参加者から危険箇所などの意見を出して頂き、データと地域の意見の両面からエリアの課題点を確認。

【交差点】

- ・一時停止を守らない
- ・見通しが悪い
- ・信号無視や変わり目に急ぐ
- ・右左折車が横断者に衝突
- ・横断歩道で車が停止しない

【単路】

- ・通過車両の速度が速い
- ・すれ違い時に歩車接近
- ・歩道が狭いため車道を通行

【抜け道】

- ・抜け道として地区内に進入

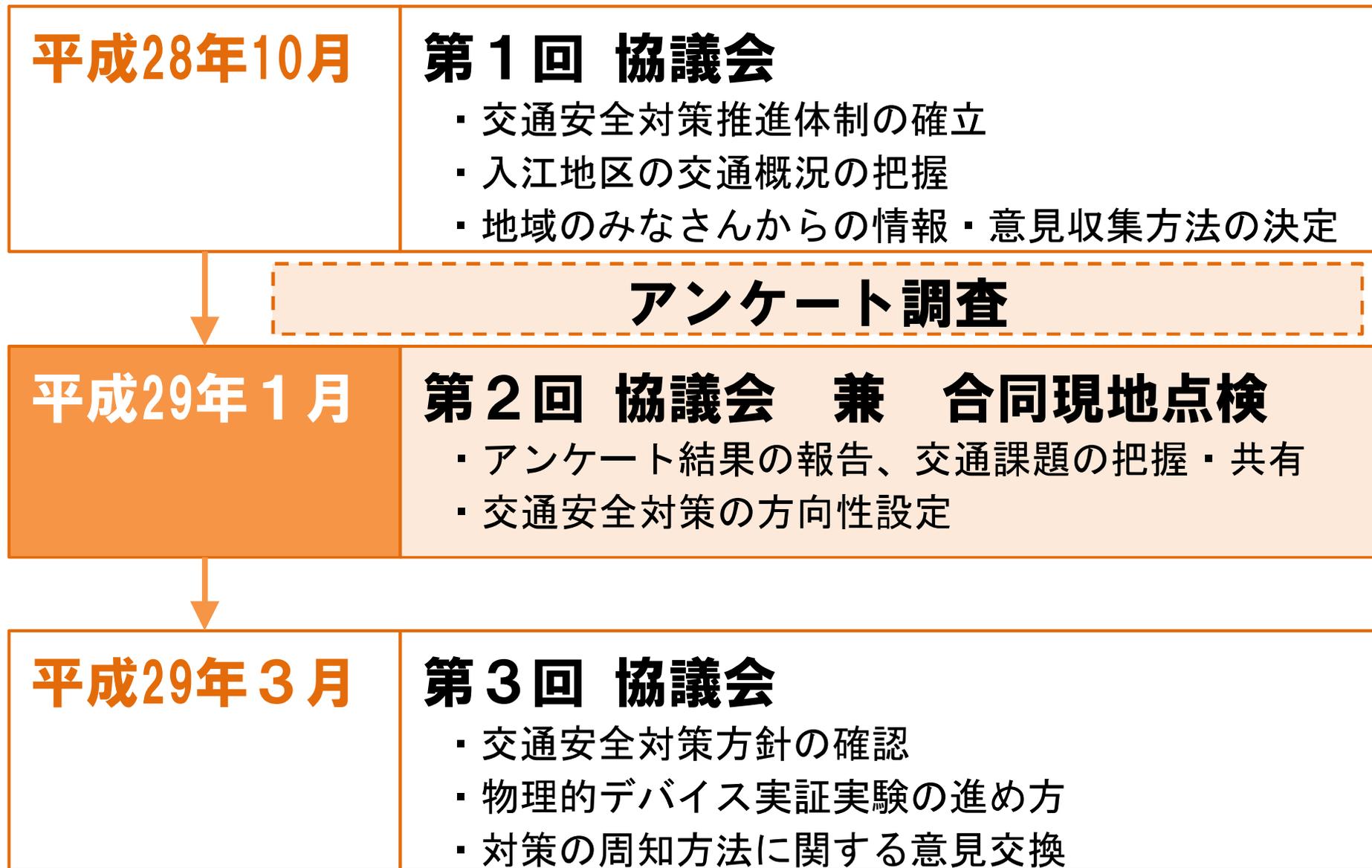
【その他】

- ・信号待ちたまり空間が狭い
- ・歩行者への注意散漫

参加者からの意見

4. 協議会の実施状況

(2) アンケート調査・第2回協議会



4. 協議会の実施状況

(2) アンケート調査・第2回協議会

- エリア内のヒヤリハットや抜け道利用の実態をアンケート調査
- 回収率も高く、地域の安全に対する意識が高いことを確認

配布先	回収数	内容	備考
地域住民 (10自治会)	1,277	○徒歩や自転車で通行しているときのヒヤリハット体験・場所 ○入江地区内を走行する自動車に対する印象（速度や抜け道利用等）	回収率50% (配布数 2,533)
小学校 (5, 6年生)	49	○車とぶつかりそうになって「危ない」と思った場所（体験・目撃）	危険な状況に遭遇した生徒のみ
中学校 (2年生)	104	○車とぶつかりそうになって「危ない」と思った場所（体験・目撃）	
地元タクシー事業者	24	○入江地区内を自動車で走行する際のヒヤリハット体験・場所 ○入江地区内を走行する際の経路	抜け道利用調査

4. 協議会の実施状況

(2) アンケート調査・第2回協議会

- 合同現地地点検を実施し、これまでの意見やアンケート調査を基に現地で状況を確認
- 合同現地地点検で確認した状況から、グループワークで課題点と対策案を検討

合同現地地点検

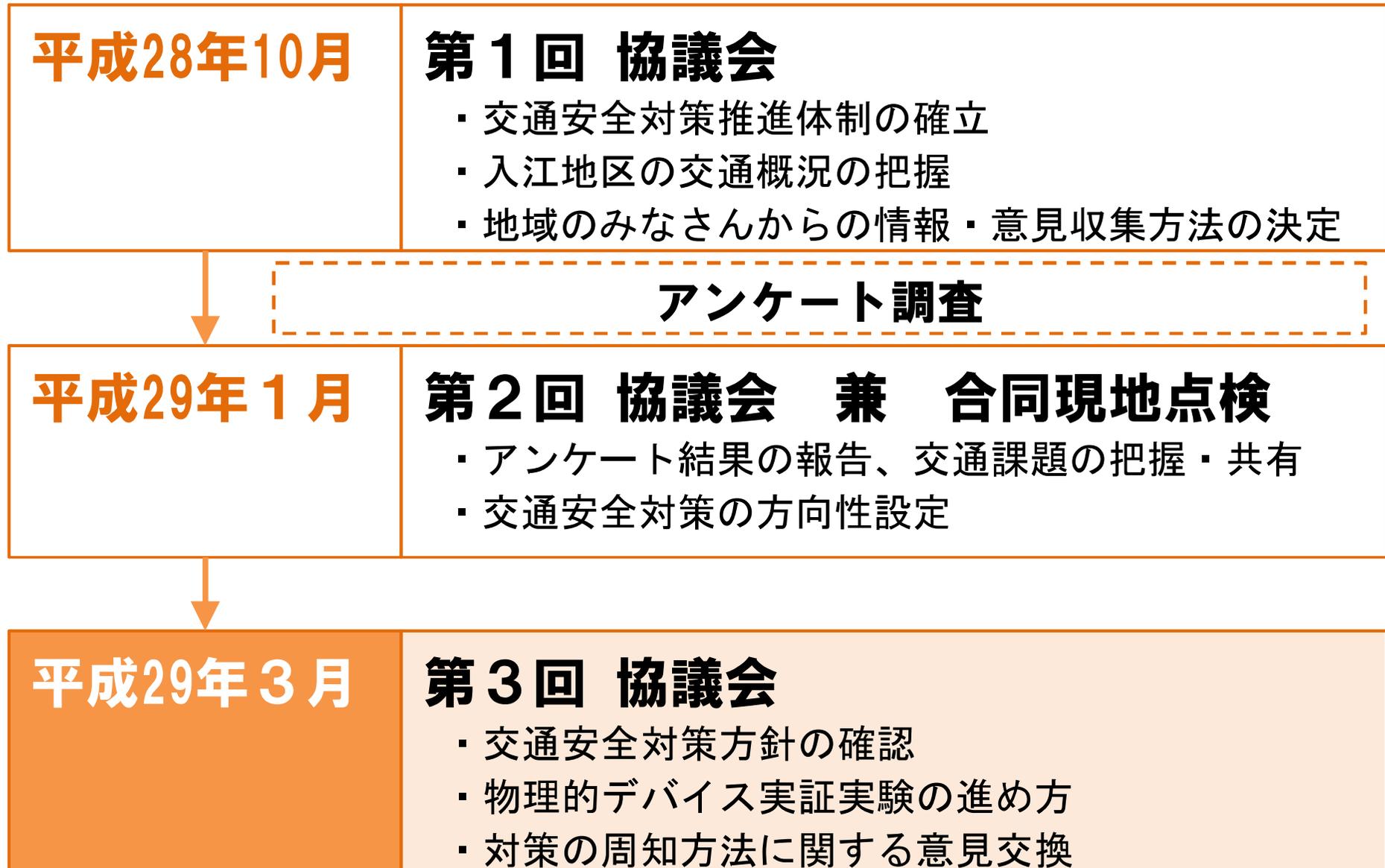


グループワーク



4. 協議会の実施状況

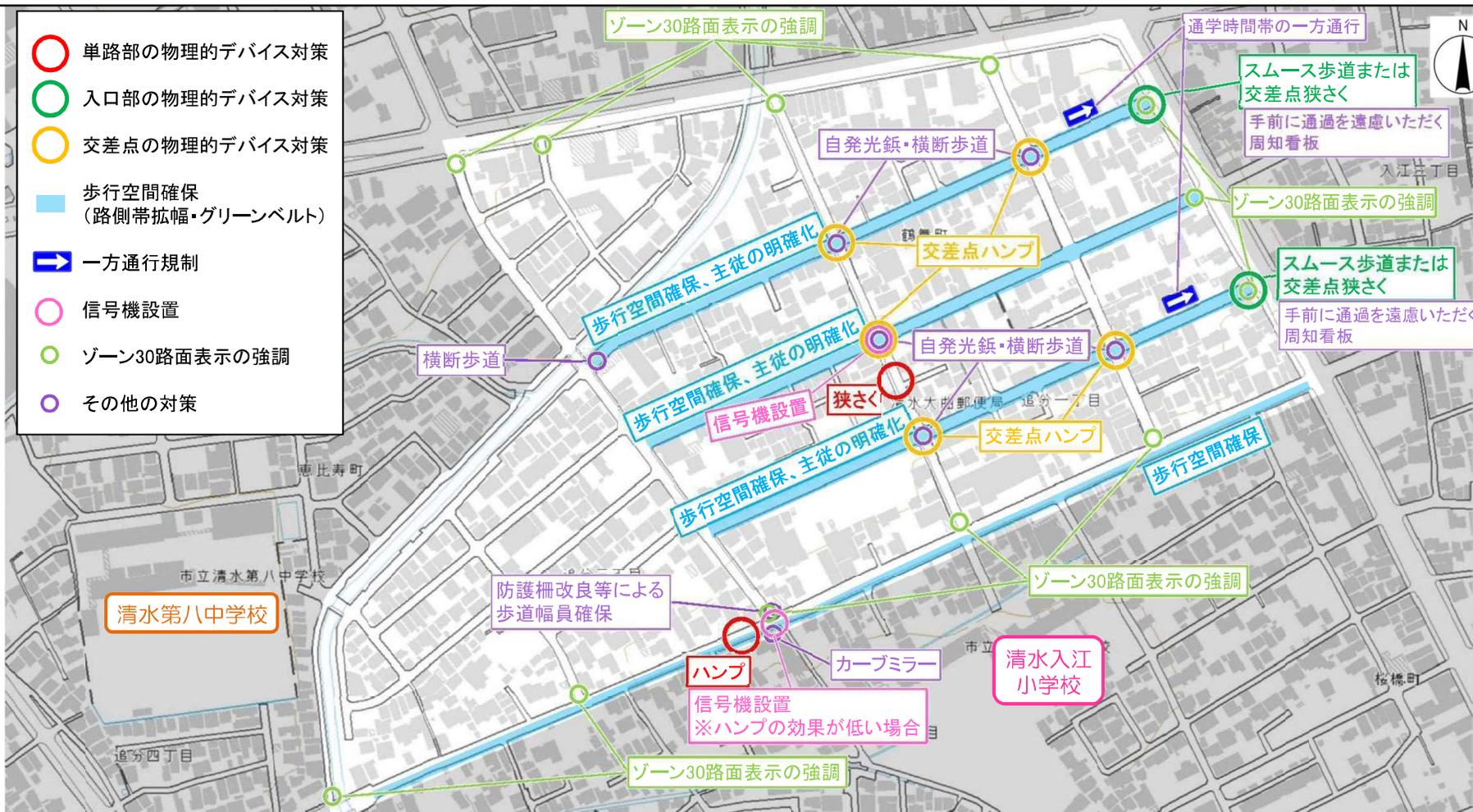
(3) 第3回協議会



4. 協議会の実施状況

(3) 第3回協議会

○平成29年1月に実施した合同現地地点検において、エリア内で実施すべき対策の意見を整理



4. 協議会の実施状況

(4) 当該地区における生活道路安全対策方針

凡例

- 短期対策** : 平成29年度の施工を予定
- 実証実験** : 平成29年度に実験 ⇒ 効果や副作用を検証後に展開
- 長期対策** : 調整・見直し検討を行いながら平成30年度以降に実施

課題	対策方針	対策案
一時停止しない道路の主従がわかりにくい 通過交通の速度が高い	一時停止の遵守 速度の抑制	交差点ハンプ&自発光紙【7箇所】 狭さく【1箇所】
実証実験		

課題	対策方針	対策案
エリア内の抜け道利用	通過車両の流入抑制	交差点狭さく&看板【2箇所】 通学時間帯一方通行【2区間】(※長期)
実証実験		

課題	対策方針	対策案
歩道が狭い 自動車の速度が高い	歩行者、自転車の安全な通行	歩道整備【1区間】
長期対策		

課題	対策方針	対策案
見通しが悪い 歩道内が狭小	視認性の向上 歩行空間確保	カーブミラー【1箇所】 防護柵改良【1箇所】
長期対策		

事例

課題	対策方針	対策案
ゾーン30エリア内の自動車の速度が高い	表示を目立たせる	ゾーン30表示の強調【12箇所】
短期対策		

※12箇所中西側の3箇所はゾーン30エリア外であるためゾーン拡大を調整

課題	対策方針	対策案
エリア内の速度が高い 抜け道として利用	歩行空間確保	中央線抹消・路側帯拡幅・グリーンベルト【3区間】
短期対策		

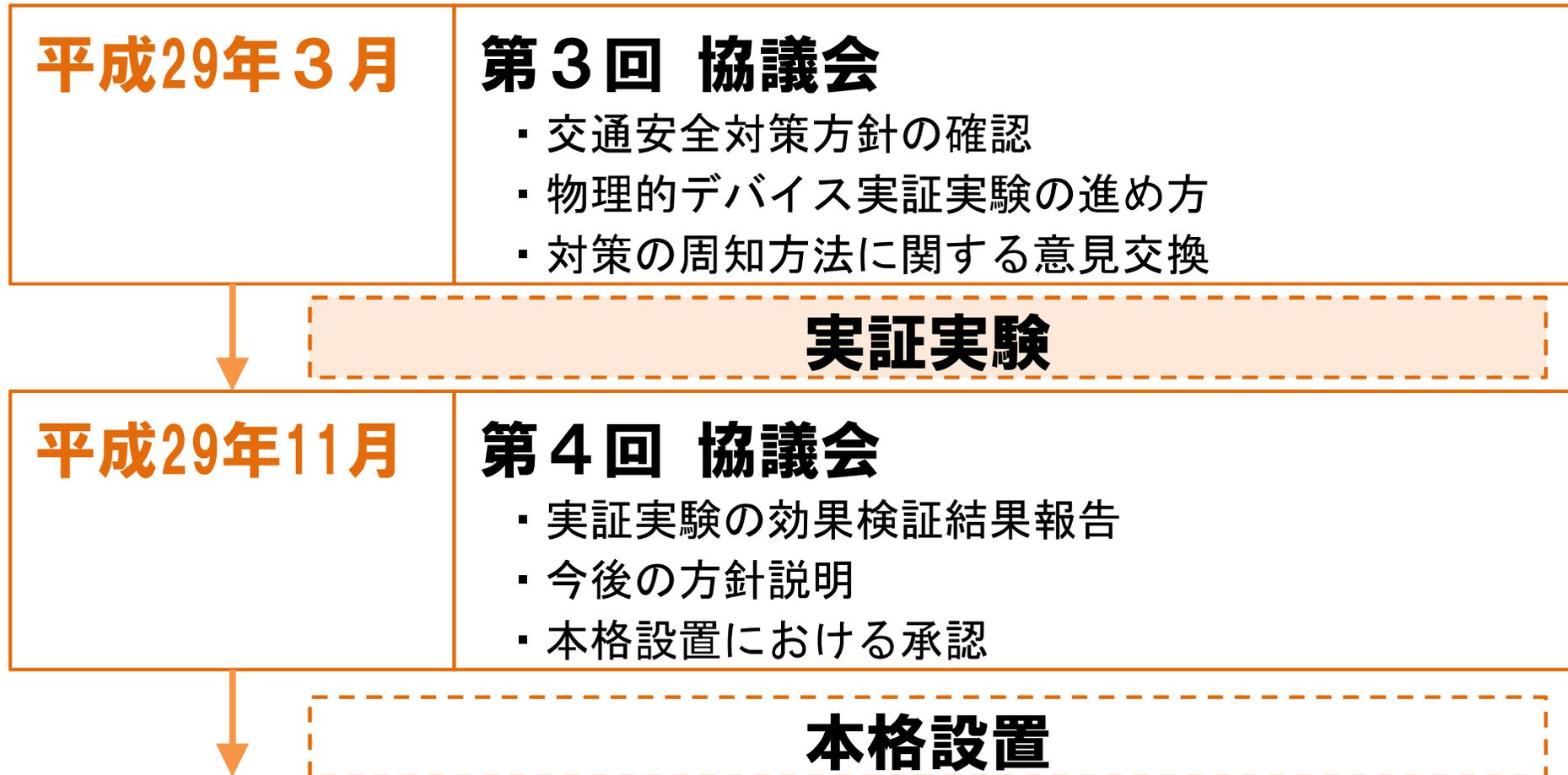
課題	対策方針	対策案
すれ違い時に歩行者と自動車とが接近	自動車に注意喚起	路面標示「歩行者に注意」【4箇所】
短期対策		

課題	対策方針	対策案
横断が困難	横断時の安全性確保	横断歩道(東側)【1箇所】
長期対策		

事務局追加対策案

4. 協議会の実施状況

(5) 実証実験



4. 協議会の実施状況

(5) 実証実験

○ 抜け道利用やスピード超過の問題に対し、道路上にハンブを設置して速度抑制を図る実証実験を実施。

実証事件のチラシ

～「暮らしのみち」の安全対策に向けて～
安全な生活道路を目指し
実証実験を行います



平成 29 年 9.13 水・26 火 実験に伴う工事 9.11～12、27～28

実験位置図



問合せ先 静岡市 建設局道路部道路保全課 TEL. 054-221-1284

ご協力を願っています。

2 30km/hは命の境界線!?
自動車は速度が時速30kmを超えている場合と、時速30km以下の場合は、死亡事故につながる確率が大きく変わり、約4倍の差があるといわれています。
生活道路では、時速30km以下の速度で走行してもらうことが安全への近道になります。

4 本格設置を目指して
実証実験は2段階のみとなります。
この実験期間中に、振動・騒音調査、交通量調査、速度調査、アンケート調査等を予定しており、ハンブの設置による効果や影響を確認します。
結果が良好であれば、今後本格設置に向けた検討を実施します。

ご存じかもしれませんが、近年、国から新築であれば、騒音・振動がほとんど免れるといわれています。

標準的なハンブをなまから見た図



騒音や振動がほとんど発生しない道路採用しています。

2 通行する際はご注意ください
ハンブは速度30km/h以下で走行すれば不快感はないとされています。
速いスピードで走行すると、思わぬ事故につながる恐れがありますので、十分ご注意ください。

4 ご意見をお聞かせください
地域の皆様を対象にアンケート調査を予定しています。感想や、通過する自動車の変化など、ご意見をお聞かせください。

仮設ハンブ施工



ハンブ設置状況

【設置前】



【設置中】

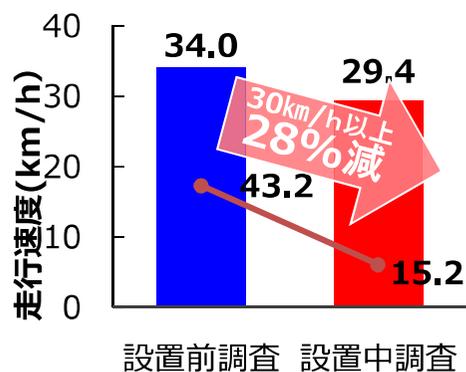


4. 協議会の実施状況

(5) 実証実験

- 走行速度調査結果から、ハンプ設置前に比べ速度が抑制し30km/h以上で走行する自動車の割合も減少。
- 実証実験に関するアンケート調査結果は、「スピードを落として走行した」「速度抑制効果が期待できる」等の肯定的な意見が多く、ハンプ設置へ期待する意見が多いことを確認。

走行速度調査結果



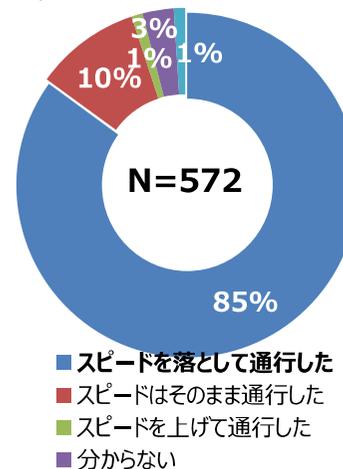
騒音振動調査結果

代表地点数値 (単位: dB)	騒音		振動	
	昼間	夜間	昼間	夜間
設置前調査	59	52	33	25
設置中調査	57	50	33	26

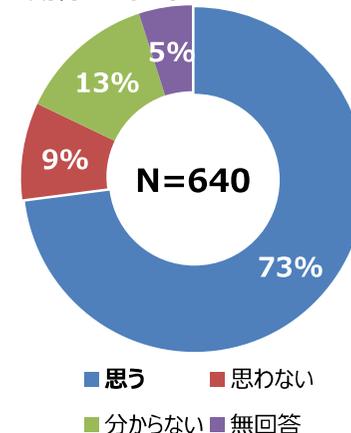
※昼間は6:00~22:00, 夜間は22:00~6:00

アンケート調査結果

Q. ハンプを通行するときのスピードはいかがでしたか？

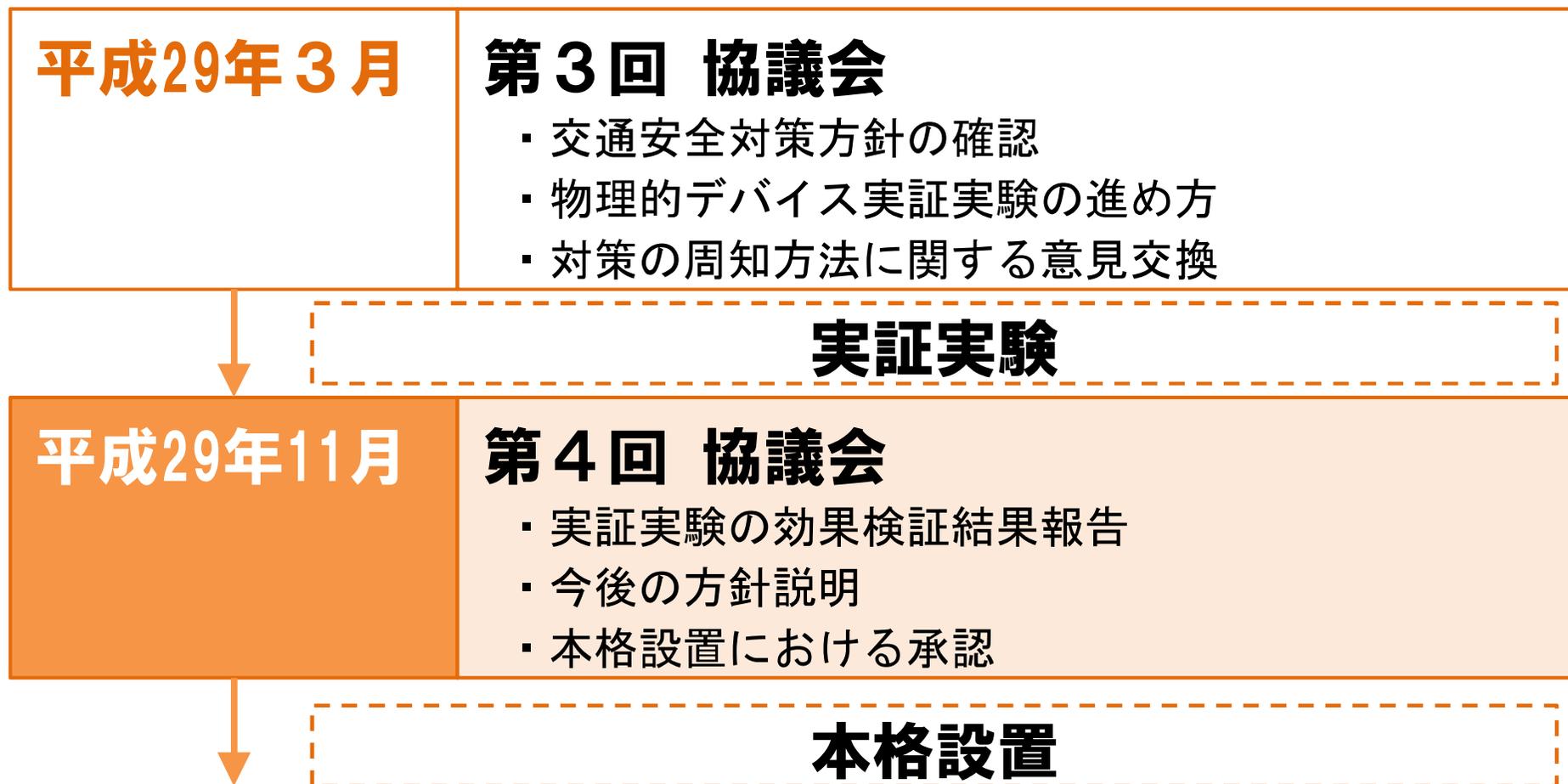


Q. ハンプを設置することは、車両の速度抑制効果が期待できると思いますか？



4. 協議会の実施状況

(6) 第4回協議会



4. 協議会の実施状況

(6) 第4回協議会

- 実証実験結果を報告し、近隣住民の方から意見を収集
- ハンプの本格設置とその他の短期対策実施を決定

第4回協議会の様子



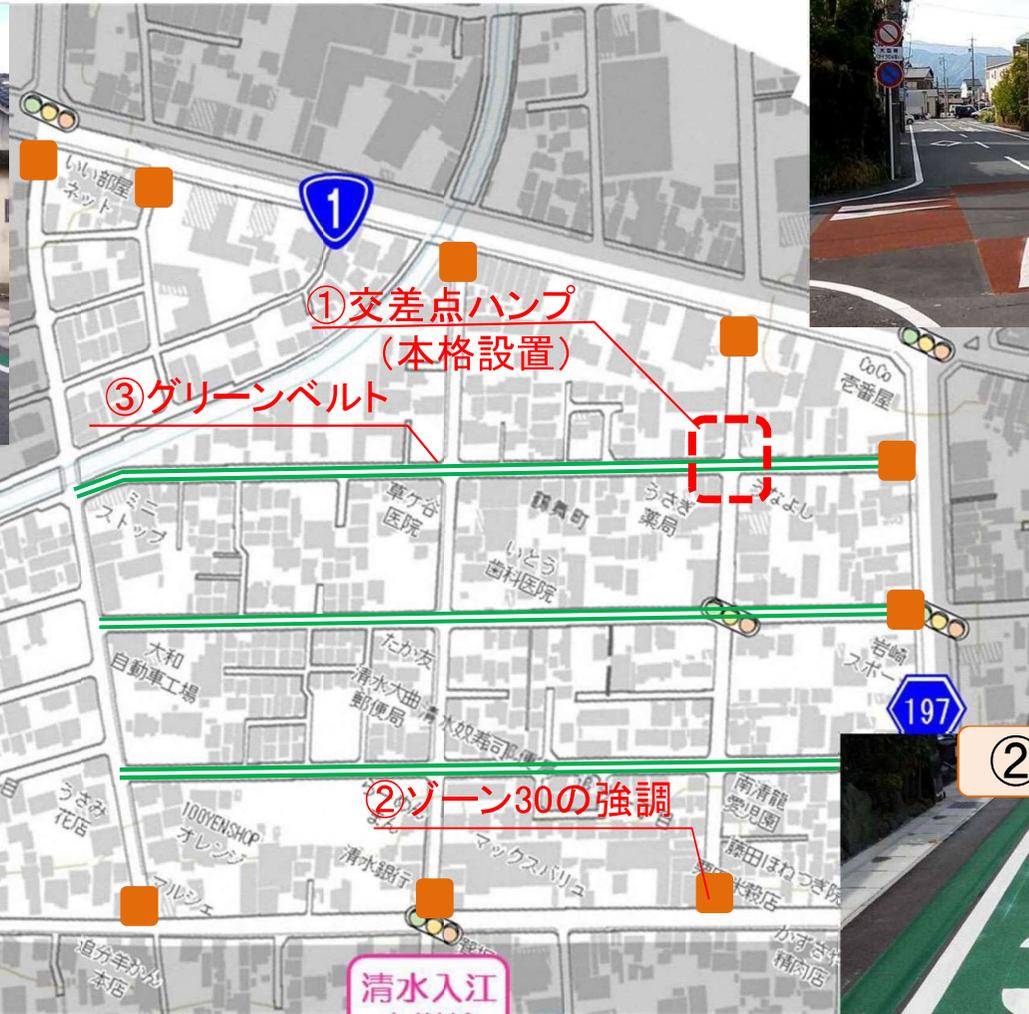
**昨年度の対策方針を踏まえ、
下記事項を決定**

- ハンプの恒久設置
（実証実験と同箇所）
- ゾーン30表示の強調
- 従道路における路肩拡幅
＋グリーンベルト設置

4. 協議会の実施状況

(6) 第4回協議会

③グリーンベルト



①交差点ハンプ(本格設置)



②ゾーン30の強調



4. 協議会の実施状況

(7) その他

○ 協議会参加者以外の方への周知方法として、News Letterの作成・配布を実施。

The collage displays four issues of the 'News Letter' (生活道路の安全対策) for the Inari area (静岡市清水区入江地区). Each issue provides updates on the project's progress:

- Vol. 1 (平成29年7月発行):** Focuses on road maintenance and the formation of the 'Inari Area Living Road Safety Countermeasure Committee' (入江地区生活道路安全対策協議会).
- Vol. 2 (平成29年9月発行):** Reports on the installation of temporary 'hamp' (仮設ハンブ) at an intersection and the start of experimental trials.
- Vol. 3 (平成29年11月発行):** Announces the decision to install the hamp as a permanent measure (本格設置) and details the results of the experimental trials.
- Vol. 4 (平成30年5月発行):** Reports on the final decision to install the hamp as a permanent measure (本格設置) and the implementation of improvements.

The News Letter includes various sections such as 'Plan', 'Do/Check', and 'Action', along with photos of community meetings, road work, and the installed hamp.

4. 協議会の実施状況

(7) その他

○ 本取組内容は新聞・テレビなどの数多くのメディアにより報道



議題2 今年度の予定

1. 今後のスケジュール

平成30年8月
[本日]

第5回 協議会

- ・ これまでの振り返り
- ・ 今年度の予定
- ・ 今後の取組

平成30年8月
～平成30年10月

- ・ 現地調査の実施
- ・ 対策効果の検証

News Letter 配布

- ・ エリア拡大や追加対策に関する要望収集
- ・ 協議会開催準備

平成31年1月

第6回 協議会

- ・ ハンプ設置の効果検証結果の報告
- ・ 対策エリア拡大、追加対策内容に関する意見交換

News Letter 配布

平成31年度
以降

「入江地区安全対策協議会」を
継続開催

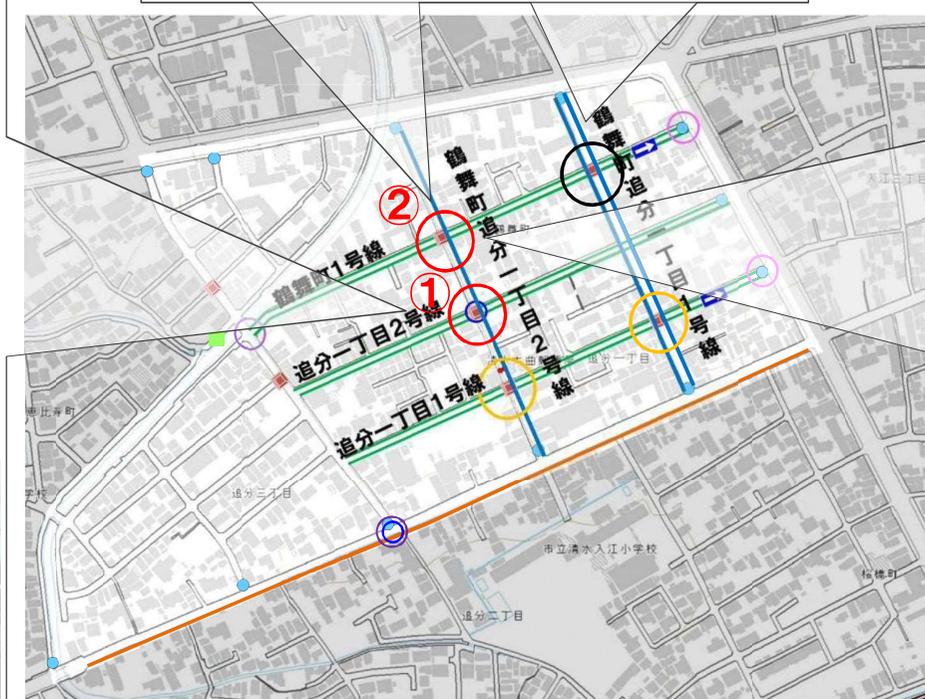
地区内の対策箇所を拡大

2. 追加対策内容および箇所の確認

○ 平成30年度に実施する対策として、エリア内の他箇所での
ハンプ設置、グリーンベルト設置を検討。

グリーンベルト設置(アドバイザー案)

①ハンプ設置候補箇所



- H29対策箇所
- H30予定箇所
- H31予定箇所

②ハンプ設置候補箇所



3. 追加対策所 対策イメージ

(1) 対策箇所①

H30予定箇所



3. 追加対策所 対策イメージ

(2) 対策箇所②

H30予定箇所



現状

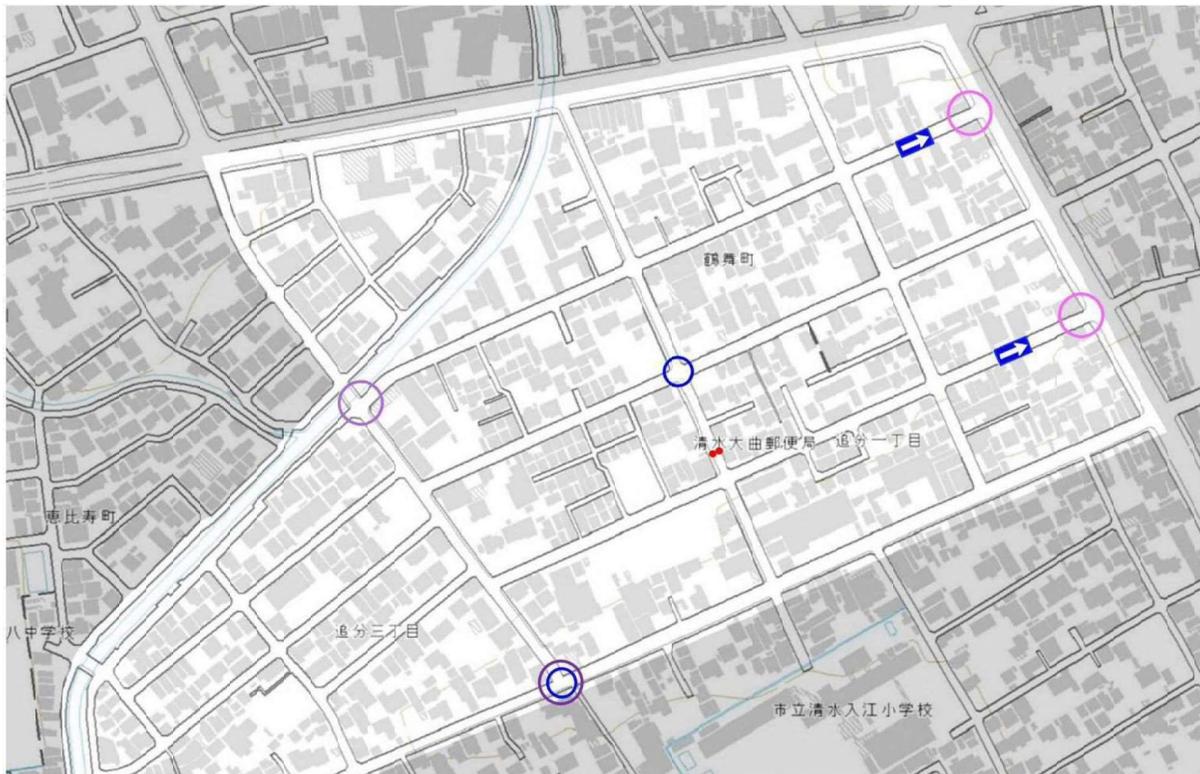


イメージ



4. 長期対策の検討

(1) 信号機、横断歩道、カーブミラー、狭さくなど



○	課題	対策方針	対策案
	自動車の速度が高い 横断できない	速度の抑制 横断歩行者の安全確保	信号機

○	課題	対策方針	対策案
	エリア内の抜け道利用	通過車両の流入抑制	交差点狭さく&看板 通学時間帯一方通行 (※長期)

○	課題	対策方針	対策案
	見通しが悪い 歩道内が狭小	視認性の向上 歩行空間確保	カーブミラー 防護柵改良

○	課題	対策方針	対策案
	横断が困難	安全性確保	横断歩道 (東側)

■	課題	対策方針	対策案
	通過交通の速度が高い	一時停止遵守 速度抑制	狭さく

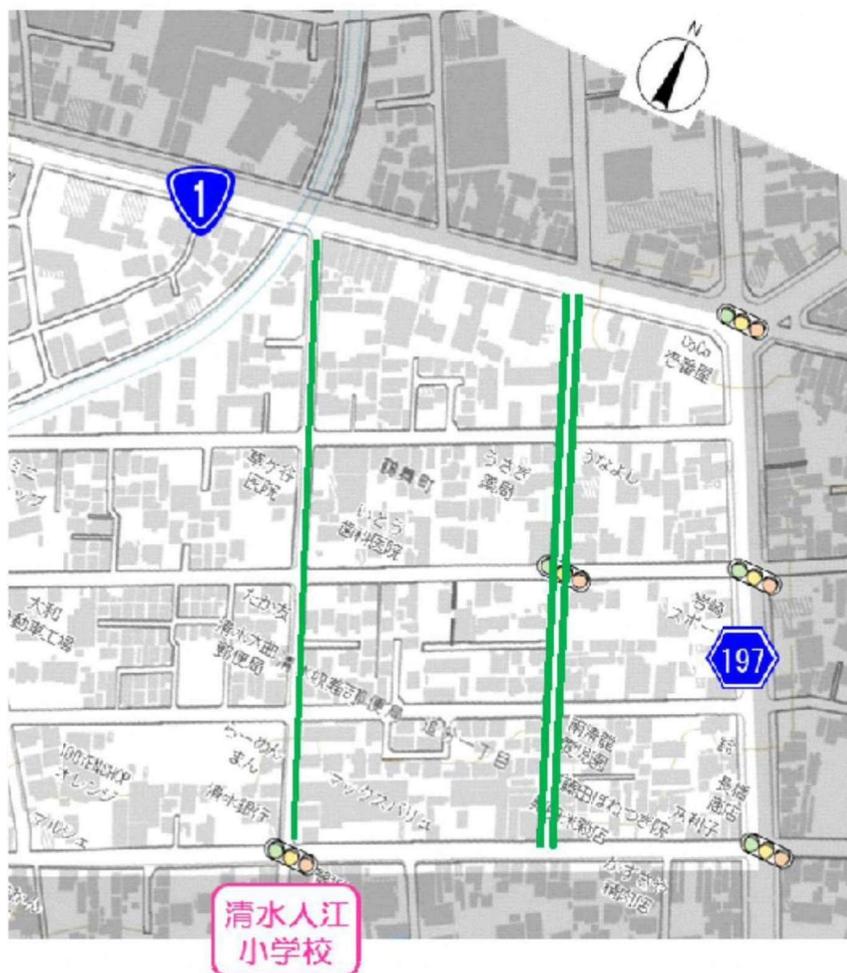
4. 長期対策の検討

(2) 自転車走行位置の明示

例：生活道路内での歩行者・自転車の安全を確保するため、それぞれの通行位置の明示について検討

○従道路以外へのグリーンベルトの設置

○自転車通行位置の明示



議題3 今後の取り組み

対策エリアの拡大・追加

○交差点ハンプの追加、生活道路対策エリア拡大について募集チラシを作成し、入江地区連合自治会定例会に配布(7月10日)

連合自治会の皆様へ

～更なる安全なまちを目指して～

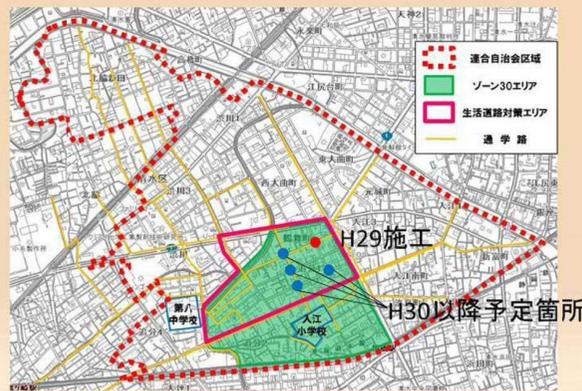


交差点ハンプ箇所を募集します！

静岡市では、地域の皆様と協働で平成28年度より生活道路の安全対策に取り組んでいます。

この度、更なる安心・安全に暮らせるまち“入江”を目指し、「交差点ハンプ」の設置エリアを拡大したいと考えています。

「うちの町内にも設置してほしい」「興味はあるけれど、どこが効果的な場所かわからない」そんな町内の皆様からのご意見・ご要望がありましたら、是非、ご相談ください。



連合自治会区域内に対策エリアを拡大します。

対策エリアの拡大・追加

- モデル地区である入江地区での対策完了後には、協議会のフレームを活用して対策エリアの拡大を検討。
- エリア全体の検証結果をふまえ、市内の他地域へ水平展開。

PDCAサイクルによる継続的な改善・充実

【対策の改善・充実】
エリアの拡大

【対策の検討】
ハンプ箇所の決定

Action

Plan

安全意識の
継続化・定着化

Check

Do

【対策効果の把握】
効果検証

【対策の実施】
本格設置

今後の流れ

H30年度～31年度

モデル地区（入江）の完成

H31年度以降

エリア拡大

将来

市内への水平展開

第6回 入江地区生活道路 安全対策協議会

平成31年1月

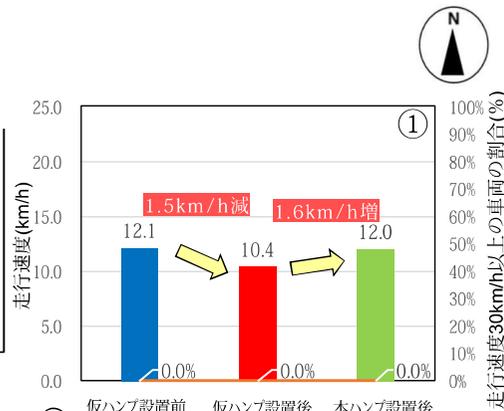
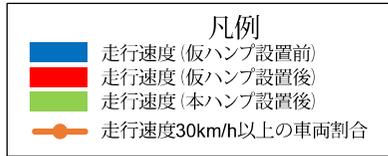
静岡市

国土交通省 中部地方整備局 静岡国道事務所

議題(1) ハンプ設置効果の分析

ハンパ設置の効果検証 [走行速度 (ハンパ設置箇所)]

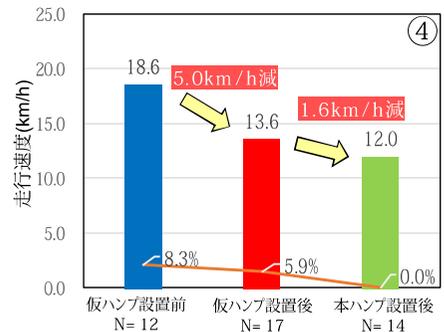
- 交差点へ進入する速度は、元々速度が高い西側流入部及び南側流入部において低下しており、ハンパ設置による速度抑制効果が確認される。(元々速度が低い北側流入部及び東側流入部では速度はほぼ横ばい)
- 30km/h以上で走行する車両の割合は、全方向において設置前に比べ減少している。



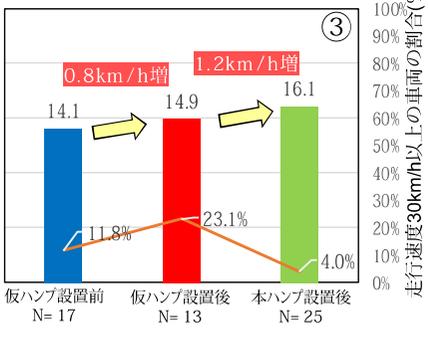
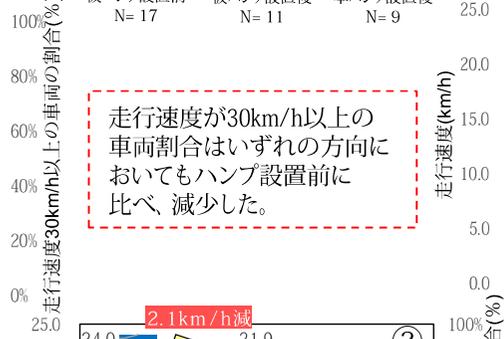
元々交差点に進入する速度が比較的低い東部流入部及び北部流入部においては、速度がほぼ横ばいとなっている。



- ①②は優先道路であり、速度が高くなる傾向であるが、①は交差点間距離が短く、速度は低い。
- ③は交差点間距離が短く、速度は低い。
- ④は交差点間距離が長く、速度が出やすい。



元々交差点に進入する速度が比較的高い西部流入部及び南部流入部において、速度が低下した。特に南側流入部における速度の減少度合いが大きい。



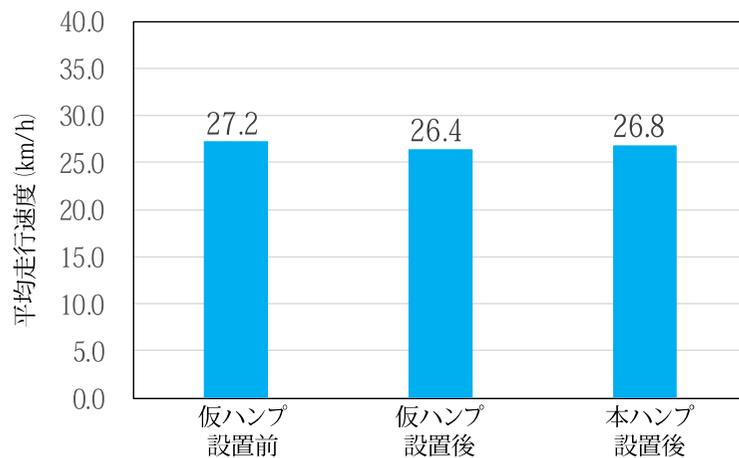
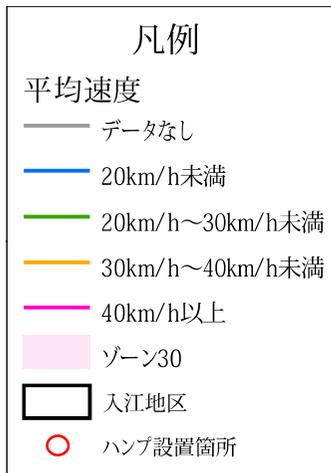
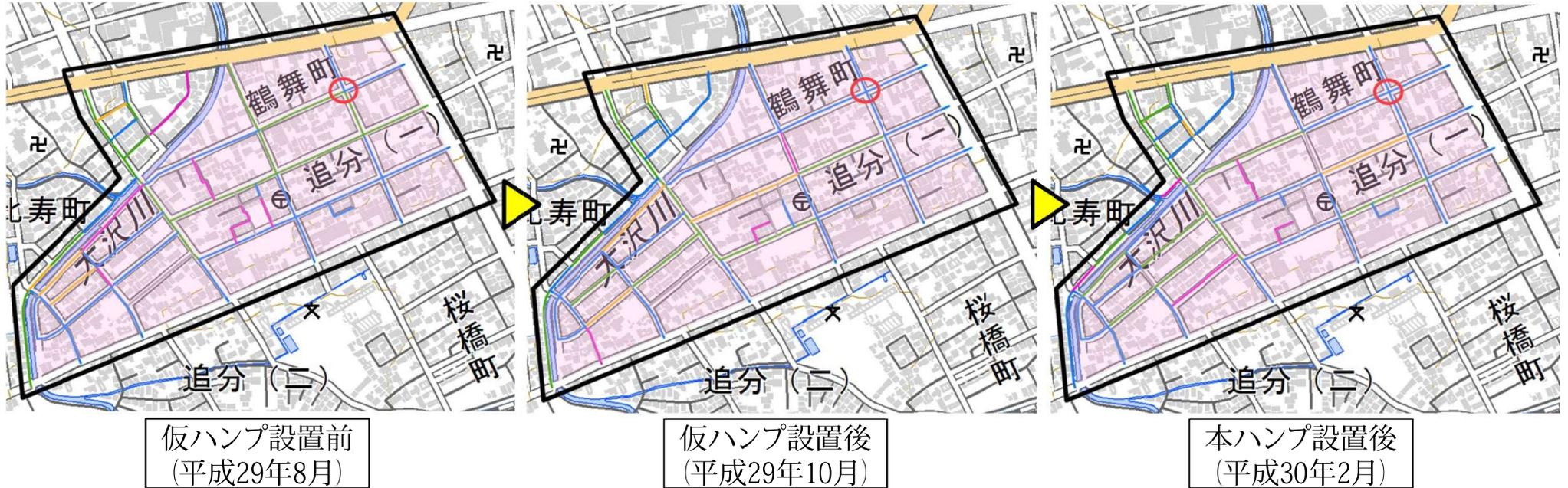
うなよし

資料: ETC2.0
 ・仮ハンパ設置前: 平成29年8月
 ・仮ハンパ設置後: 平成29年10月
 ・本ハンパ設置後: 平成30年2月



ハンプ設置の効果検証 [走行速度 (生活道路対策エリア内)]

○ 生活道路対策エリア内の道路では、対策前後で走行速度に大きな変化は見られない。



資料: ETC2.0
 ・仮ハンプ設置前: 平成29年8月
 ・仮ハンプ設置後: 平成29年10月
 ・本ハンプ設置後: 平成30年2月

※対策エリアの外周にある幹線道路は除く 2

ハンパ設置の効果検証 [急減速]

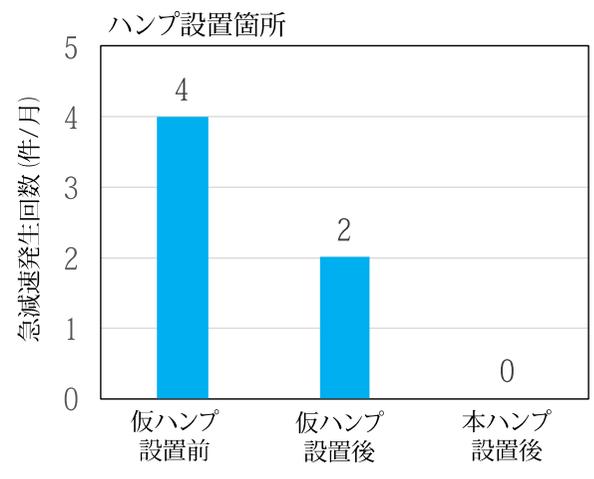
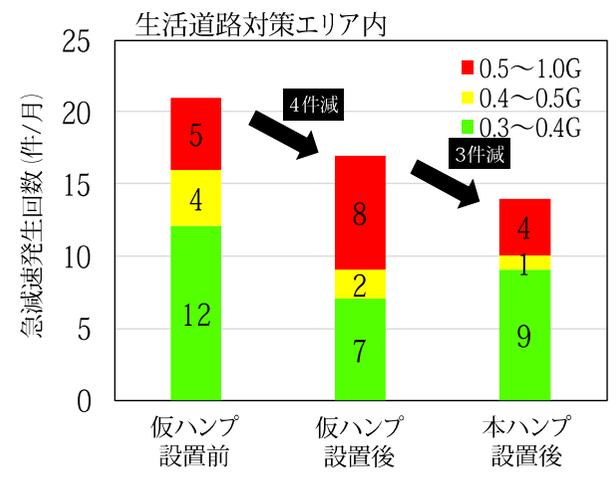
○ 生活道路対策エリア内及びハンパ設置箇所[○]の急減速は、減少傾向にある。



仮ハンパ設置前
(平成29年8月)

仮ハンパ設置後
(平成29年10月)

本ハンパ設置後
(平成30年2月)

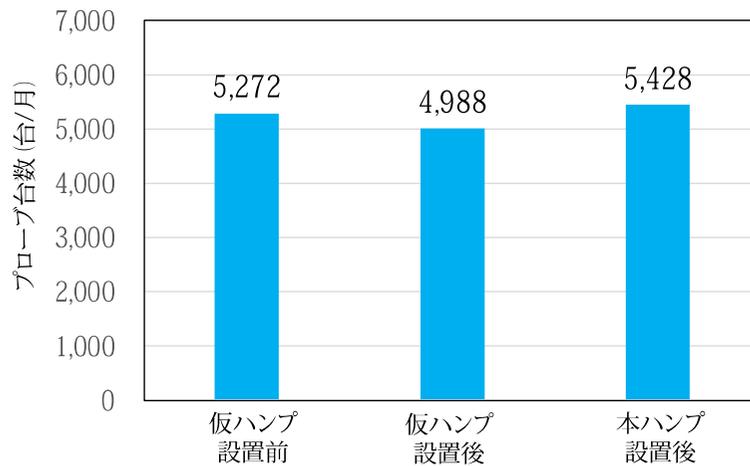
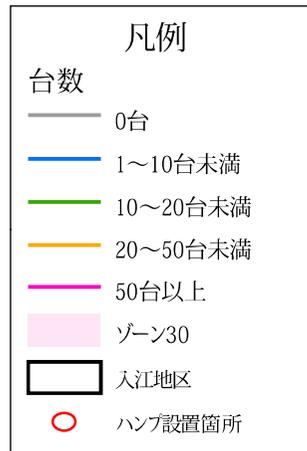
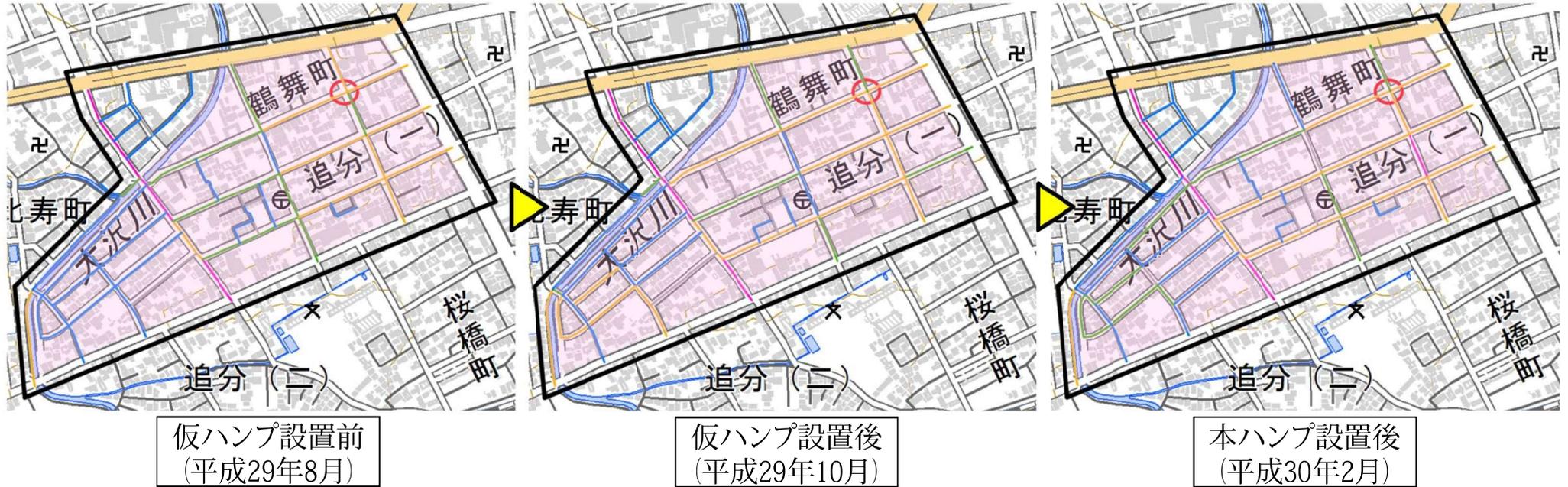


資料: ETC2.0
 ・仮ハンパ設置前: 平成29年8月
 ・仮ハンパ設置後: 平成29年10月
 ・本ハンパ設置後: 平成30年2月

※対策エリアの外周にある幹線道路は除く 3

ハンプ設置の効果検証 [プローブ台数]

○ 生活道路対策エリア内のプローブ台数は、対策前後で大きな変化は見られない。



資料: ETC2.0
 ・仮ハンプ設置前: 平成29年8月
 ・仮ハンプ設置後: 平成29年10月
 ・本ハンプ設置後: 平成30年2月

※対策エリアの外周にある幹線道路は除く 4

議題(2) ハンプ設置の効果検証結果

1. ハンプ設置の経緯

○ 平成29年9月の実証実験を経て、平成30年1月に入江地区に交差点ハンプを本格設置



- 実験期間 :
平成29年9月13日 (水) ~平成29年9月26日 (火) (2週間)
- 本格設置 :
平成30年1月末~
- 設置箇所の状況 (本格設置前) :
 - ◇ 交通事故や急ブレーキが多発、
 - ◇ 抜け道の経路になっていた、
 - ◇ 一時停止を守らない車両がみられ危険な状況、などの意見がみられた

【設置前】



【仮設置後】



【本格設置後】



2. 効果検証 調査の概要

○ 平成30年9月に本格設置後の効果検証を行うために、走行速度調査、騒音・振動調査を実施

① 走行速度調査

■調査内容：交差点付近を走行する車両の速度をスピードガンを用いて計測

■調査時間：6時間調査

朝：7:00～9:00 (2時間)

昼：11:00～13:00 (2時間)

夕：17:00～19:00 (2時間)

② 騒音・振動調査

■調査内容：交差点付近の騒音・振動値を機器を用いて計測

■調査時間：24時間調査

(調査の経緯)

設置前 H29.9.5 (火)	仮設置後 H29.9.19 (火)	本格設置後 H30.10.2 (火)
①走行速度調査	①走行速度調査	①走行速度調査
②騒音・振動調査	②騒音・振動調査	②騒音・振動調査
③交通量調査	③交通量調査	—
—	④利用者意識調査	—

(配置図)



(調査状況)

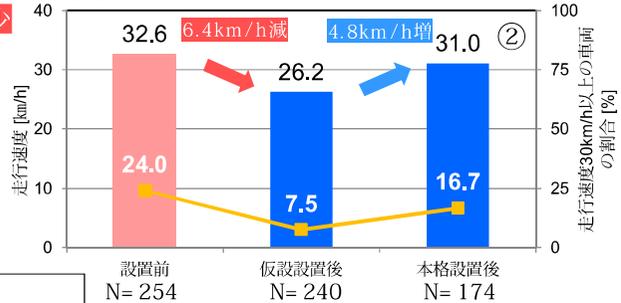
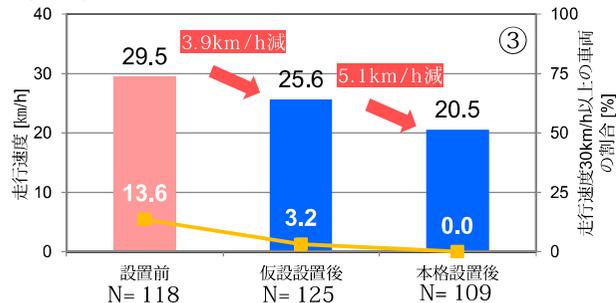
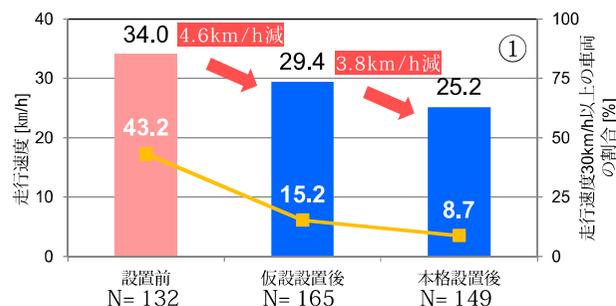
▼走行速度調査の様子



▲騒音・振動調査の様子

3. 調査結果 (速度)

○ 本格設置後は仮設置後に比べて速度が増加した方向がみられたが、設置前と比べて、全ての方向で速度が低下

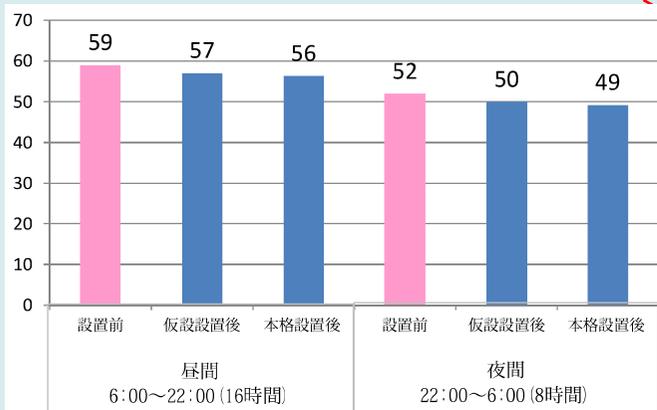


凡例
■ 走行速度
■ 走行速度
— 走行速度30km/h以上の車両割合

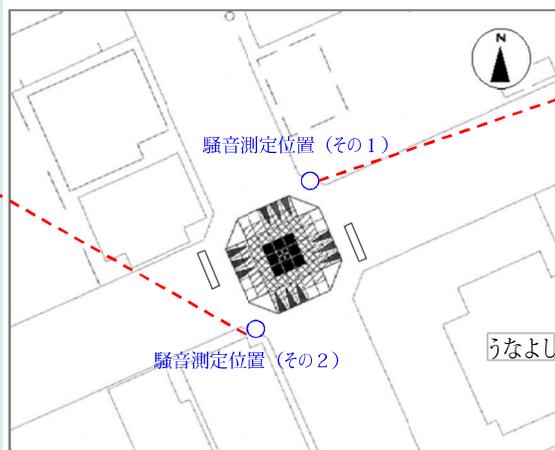
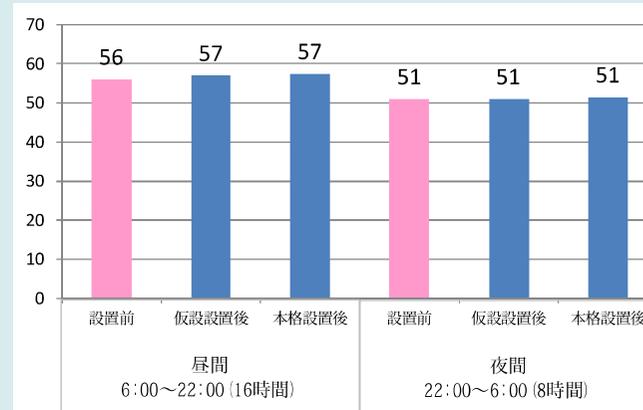
3. 調査結果 (騒音)

○騒音レベルは、昼夜ともに設置前と同等またはそれ以下の
ため、交差点ハンプ設置の影響はないものと考えられる

騒音調査位置
(その2)



騒音調査位置
(その1)

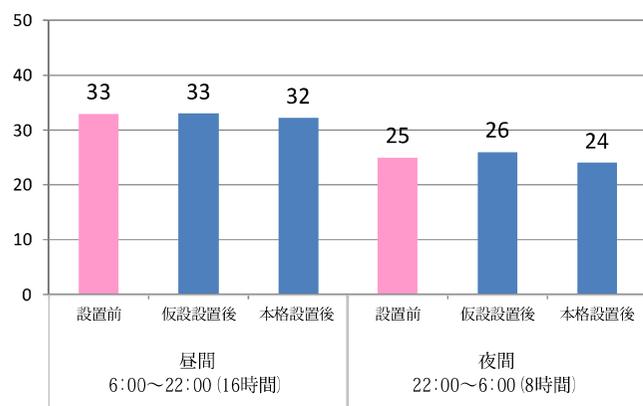


<騒音計測位置図>

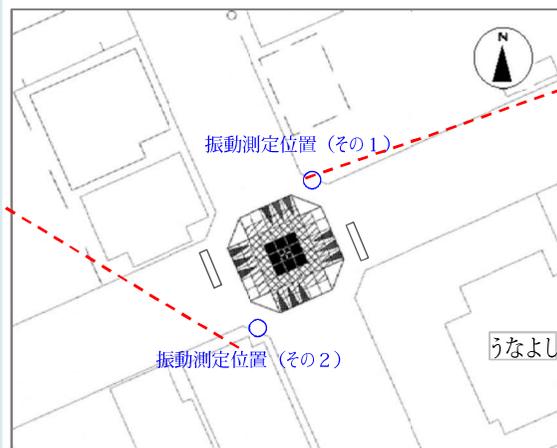
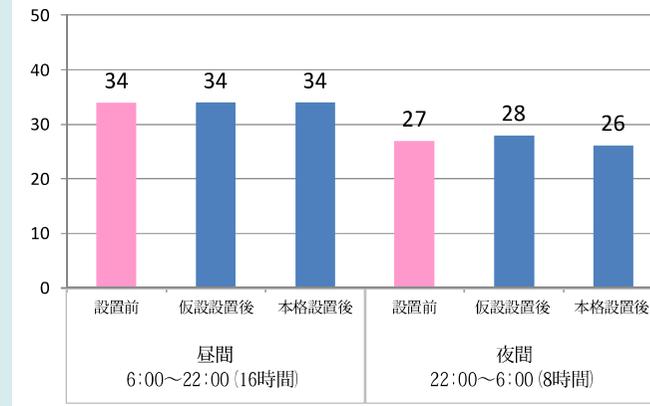
3. 調査結果 (振動)

○振動レベルは、昼夜ともに設置前と同等またはそれ以下の
ため、交差点ハンプ設置の影響はないものと考えられる

振動調査位置
(その2)



振動調査位置
(その1)



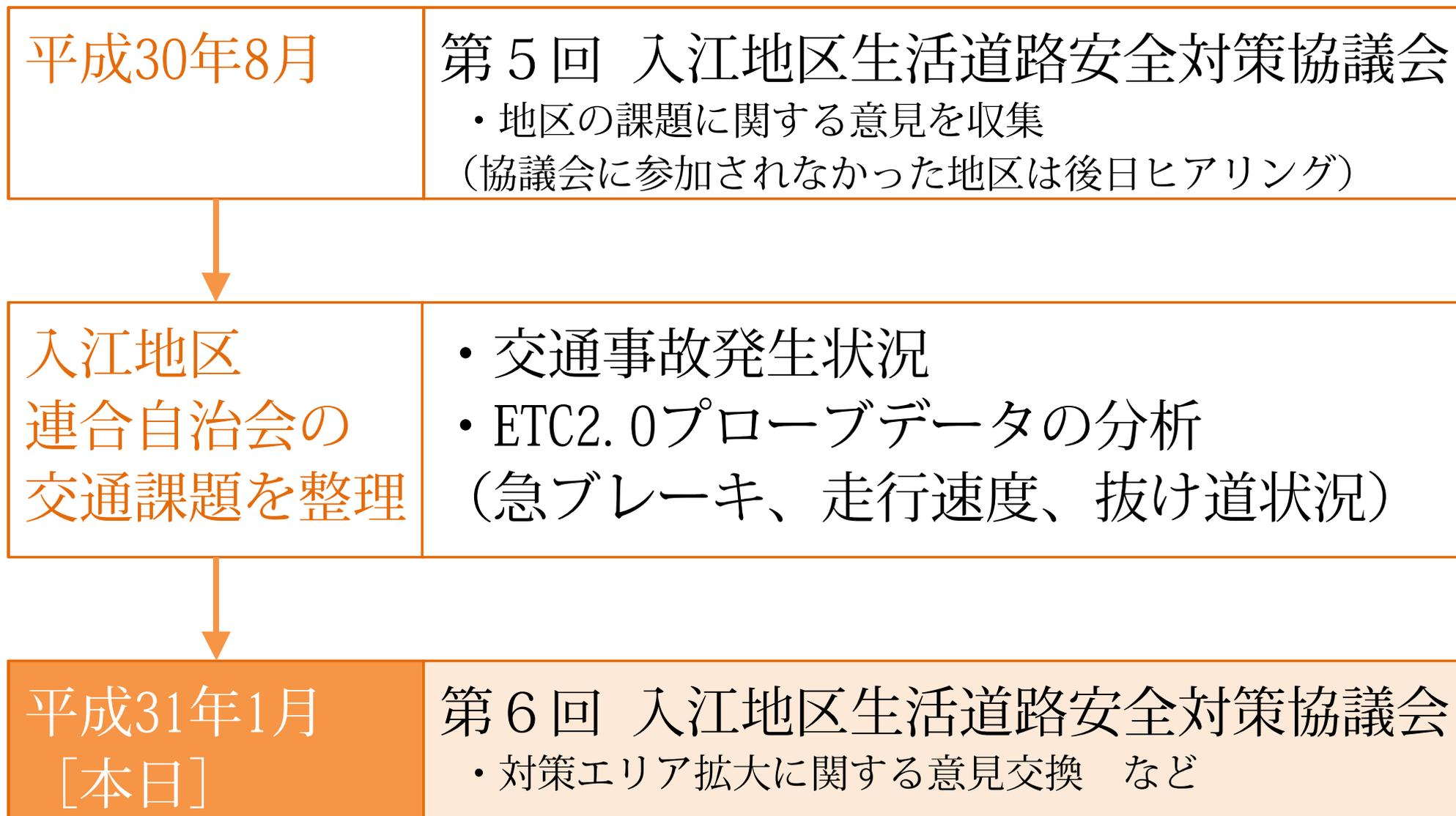
<騒音計測位置図>

4. 調査結果総評

調査項目	総 評
① 走行速度調査	<p>✓<u>交差点へ進入する速度は、対策前と比較して全方向で減少しており、ハンプ設置による走行速度の抑制効果を確認できた。</u></p> <p>✓<u>仮設設置時と比べて、南側・西側の走行速度の増加がみられたが、増加した方向はサンプル数（交通量）の減少がみられ、地域内の走行経路の変更などが生じている可能性がある。</u></p>
② 騒音・振動調査	<p>✓<u>昼間・夜間の騒音・振動レベルは設置前と同等またはそれ以下のため、ハンプ設置の影響はないと考えられる。</u></p>

議題(3) 対策エリア拡大の 検討結果について

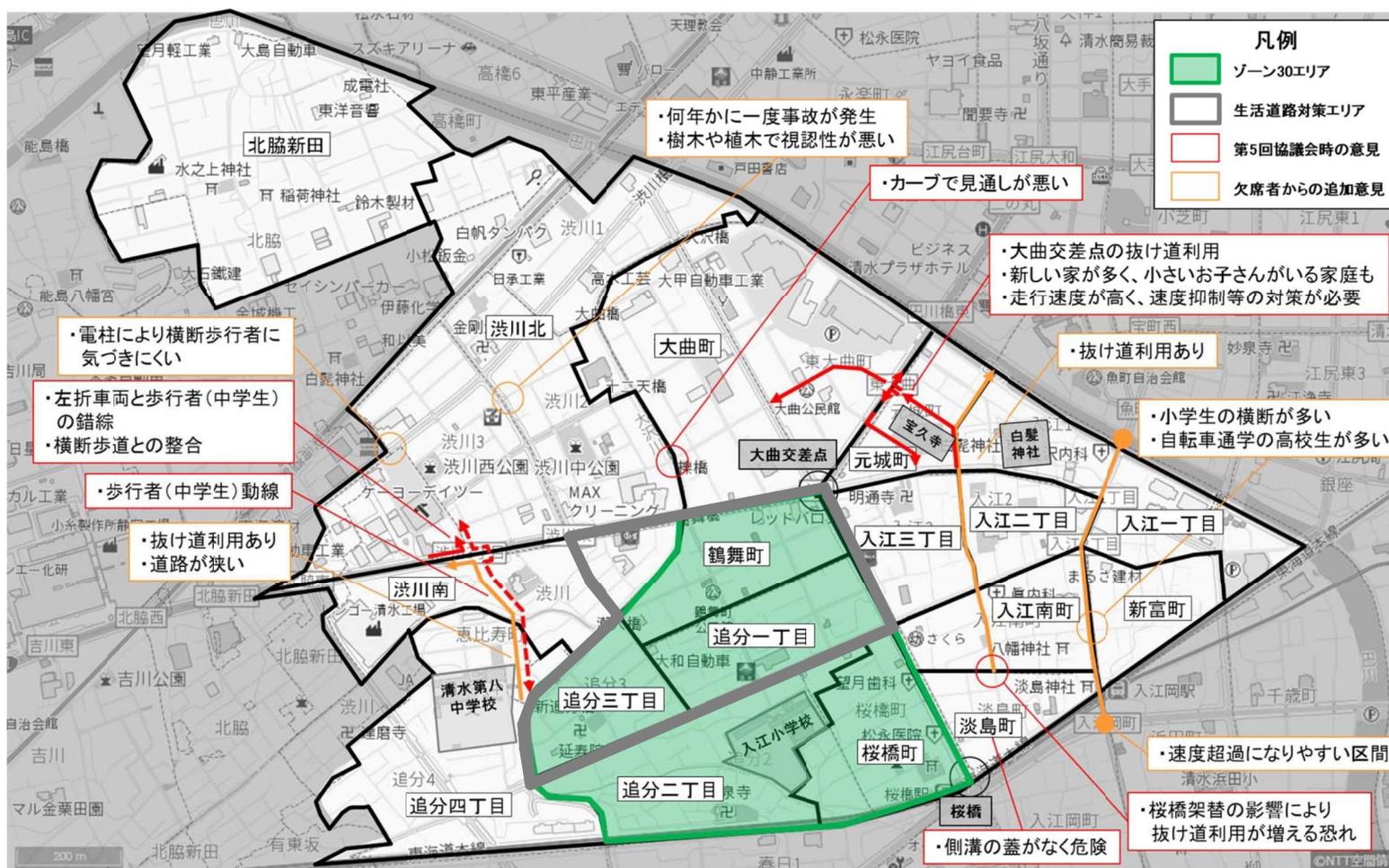
1. 対策エリア拡大に向けた検討手順



2. 第5回協議会振り返り

(1) 地区の課題に関する意見

○第5回協議会において近隣住民の方から危険箇所について意見を頂いた。



第5回協議会主な意見

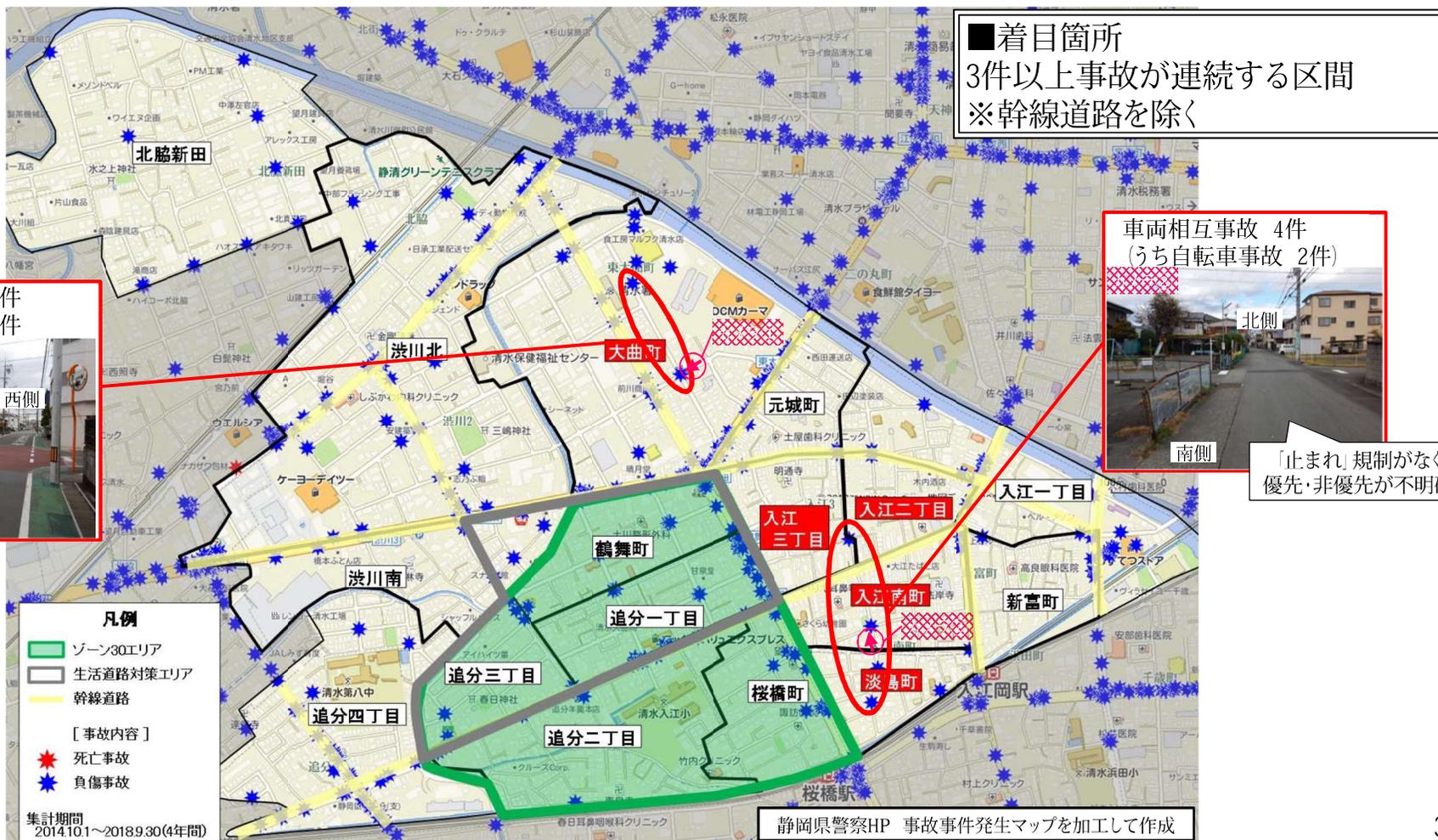
- 小学生や中学生との事故危険
- 抜け道利用
- 走行速度が高く危険
- 視認性が悪い
- 道路が狭い
- 歩行者の動線と横断歩道との整合
- 側溝の蓋がなく危険
- 過去にも事故が発生している箇所



3. 交通課題の整理

(1) 交通事故発生状況

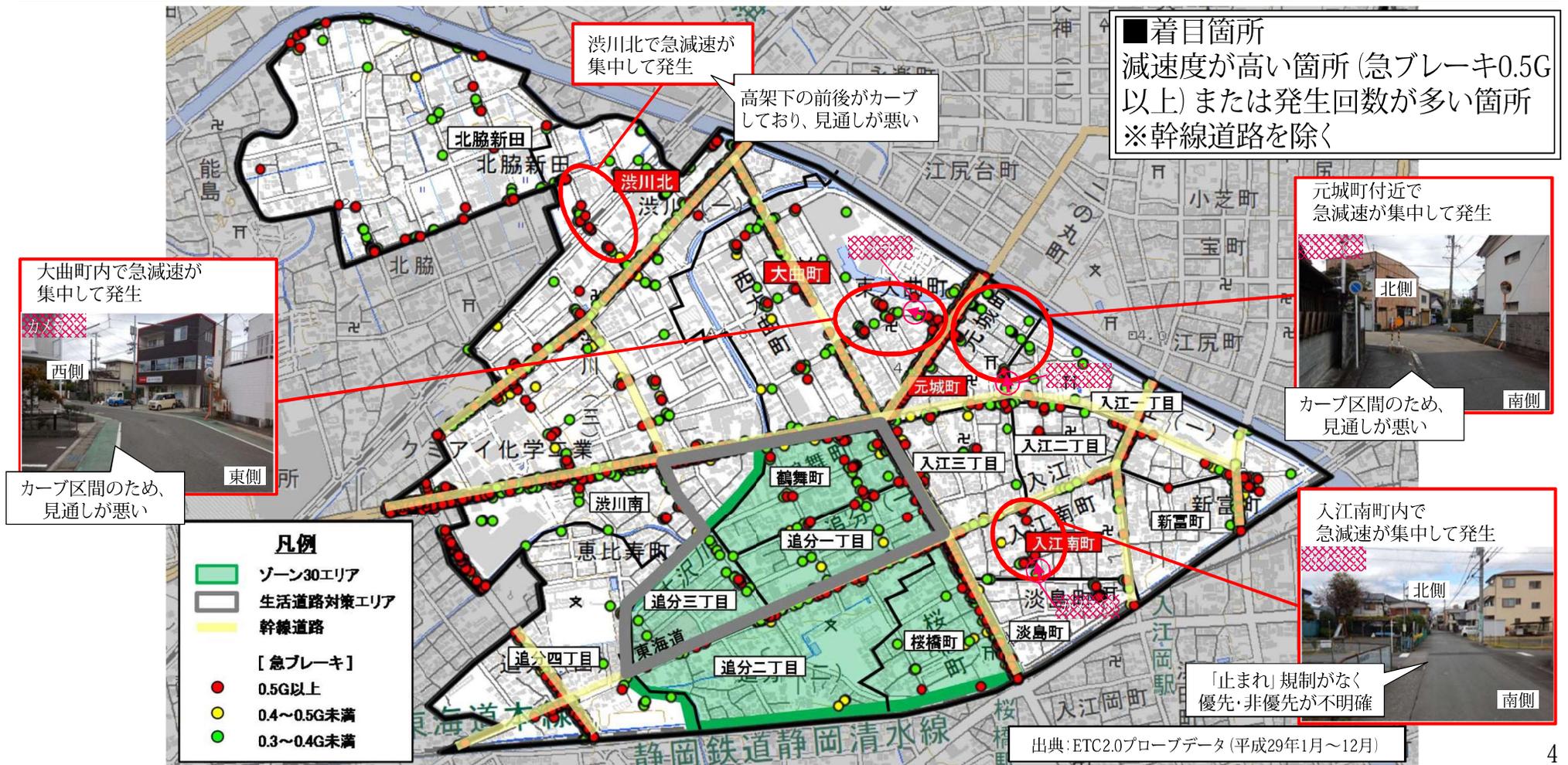
○交通事故が連続して発生している区間が存在 (下図赤枠)
 →入江南町、淡島町、入江二丁目、入江三丁目、大曲町



3. 交通課題の整理

(2) 急ブレーキ発生状況 (ETC2.0プローブデータ)

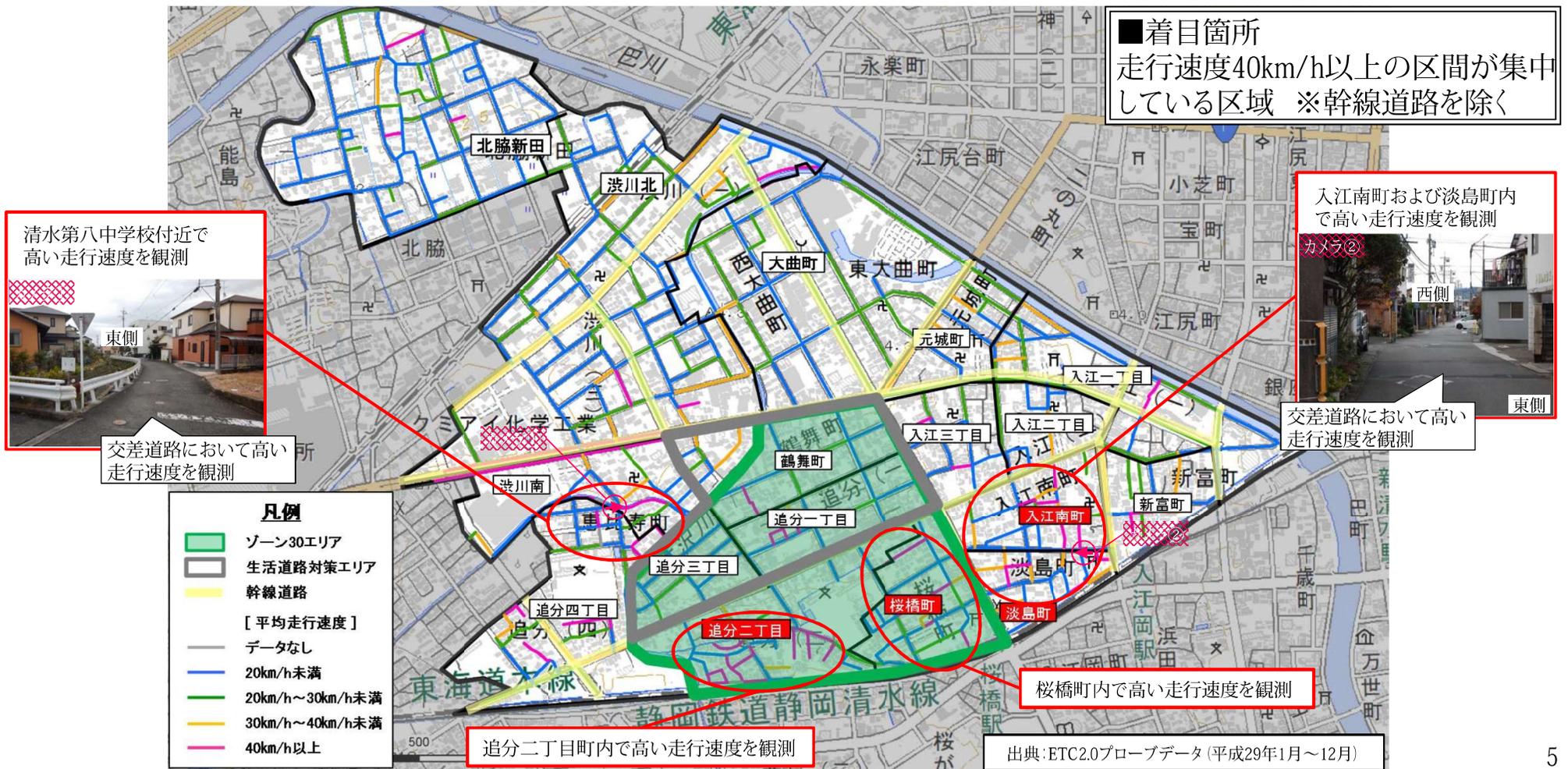
○急ブレーキが集中して発生している箇所が存在 (下図赤枠)
 →入江南町、元城町、大曲町、渋川北



3. 交通課題の整理

(3) 自動車の平均速度 (ETC2.0プローブデータ)

○高い走行速度が観測された区域が存在 (下図赤枠)
→入江南町、淡島町、桜橋町、追分二丁目



3. 交通課題の整理

(4) 抜け道利用状況 (ETC2.0プローブデータ)

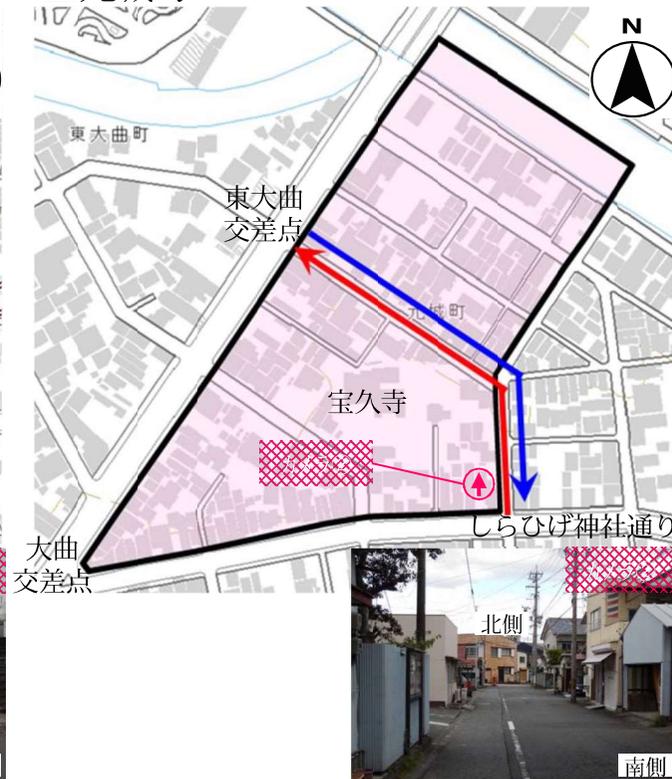
○第5回協議会時に意見の挙がった箇所 (入江南町、淡島町、元城町、追分四丁目) において抜け道利用の発生を確認

■入江南町・淡島町



入江南町と淡島町の境部において抜け道利用を確認。

■元城町



元城町内の国道1号東大曲交差点としらひげ神社通りを結ぶ区間において抜け道利用を確認。

■追分四丁目

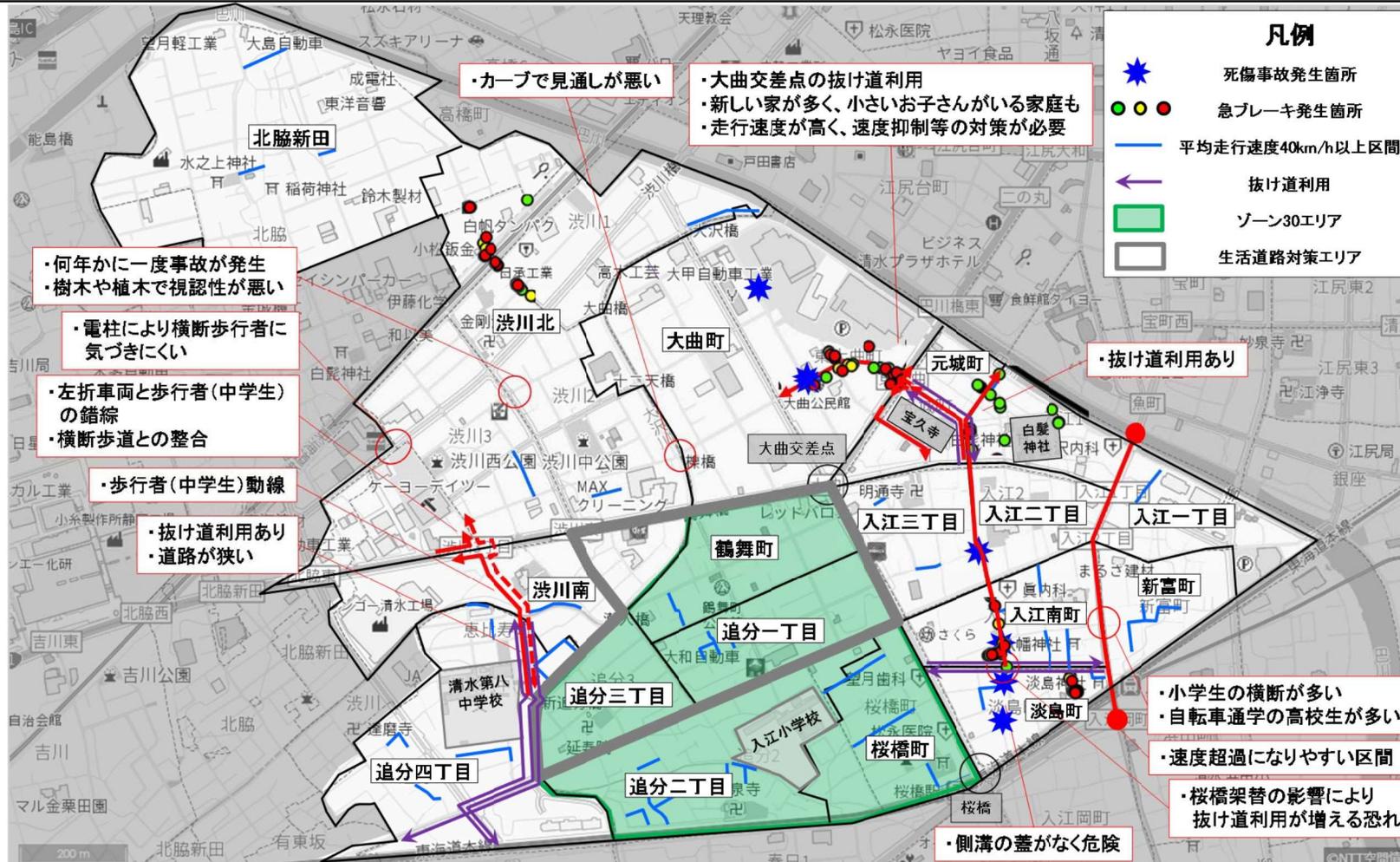


追分四丁目内の清水第八中学校付近において抜け道利用を確認。

3. 交通課題の整理

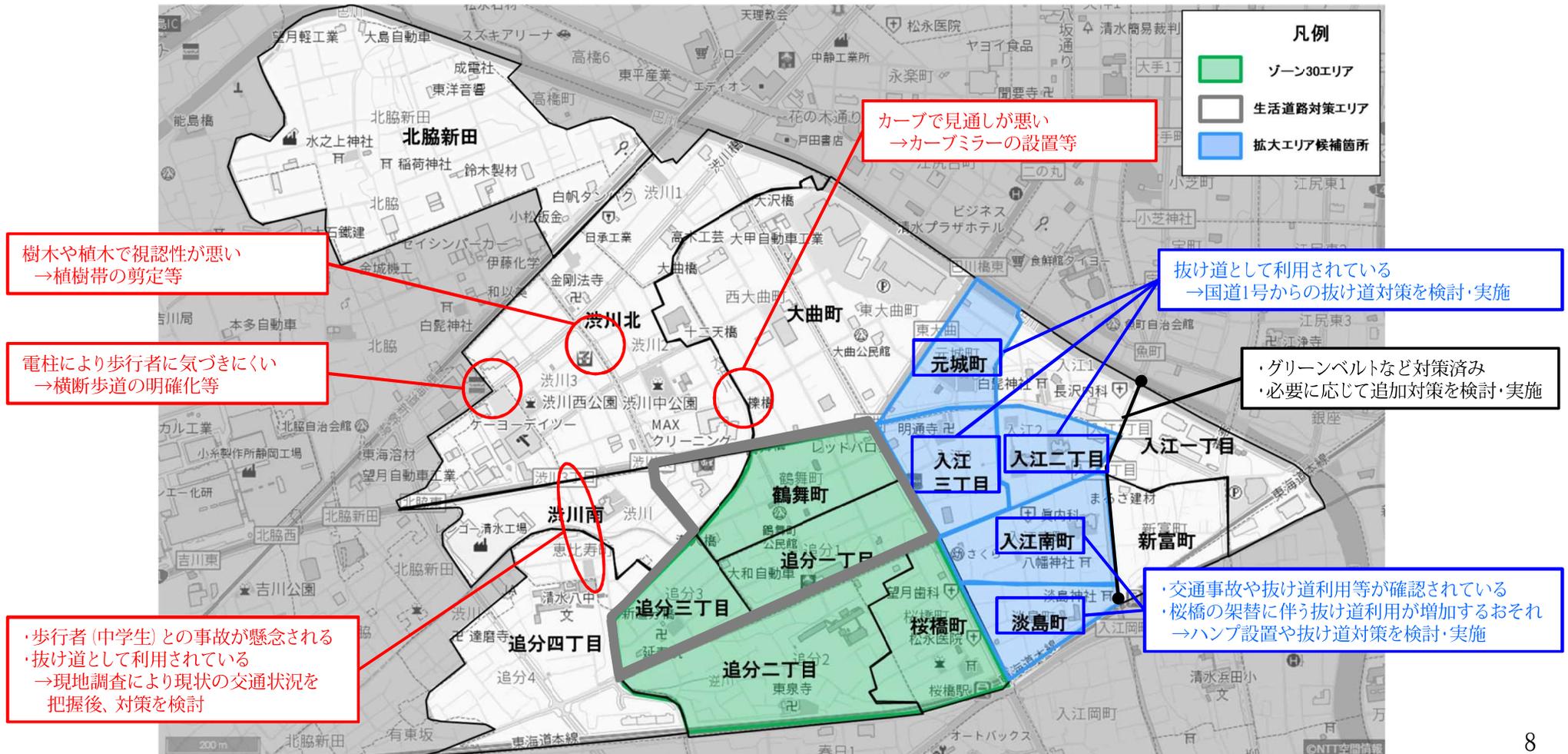
(5) 入江地区連合自治会の交通課題まとめ

○大曲交差点の抜け道に利用されている区間において交通事故および急挙動の発生が確認された。



4. 拡大エリア範囲 (案)

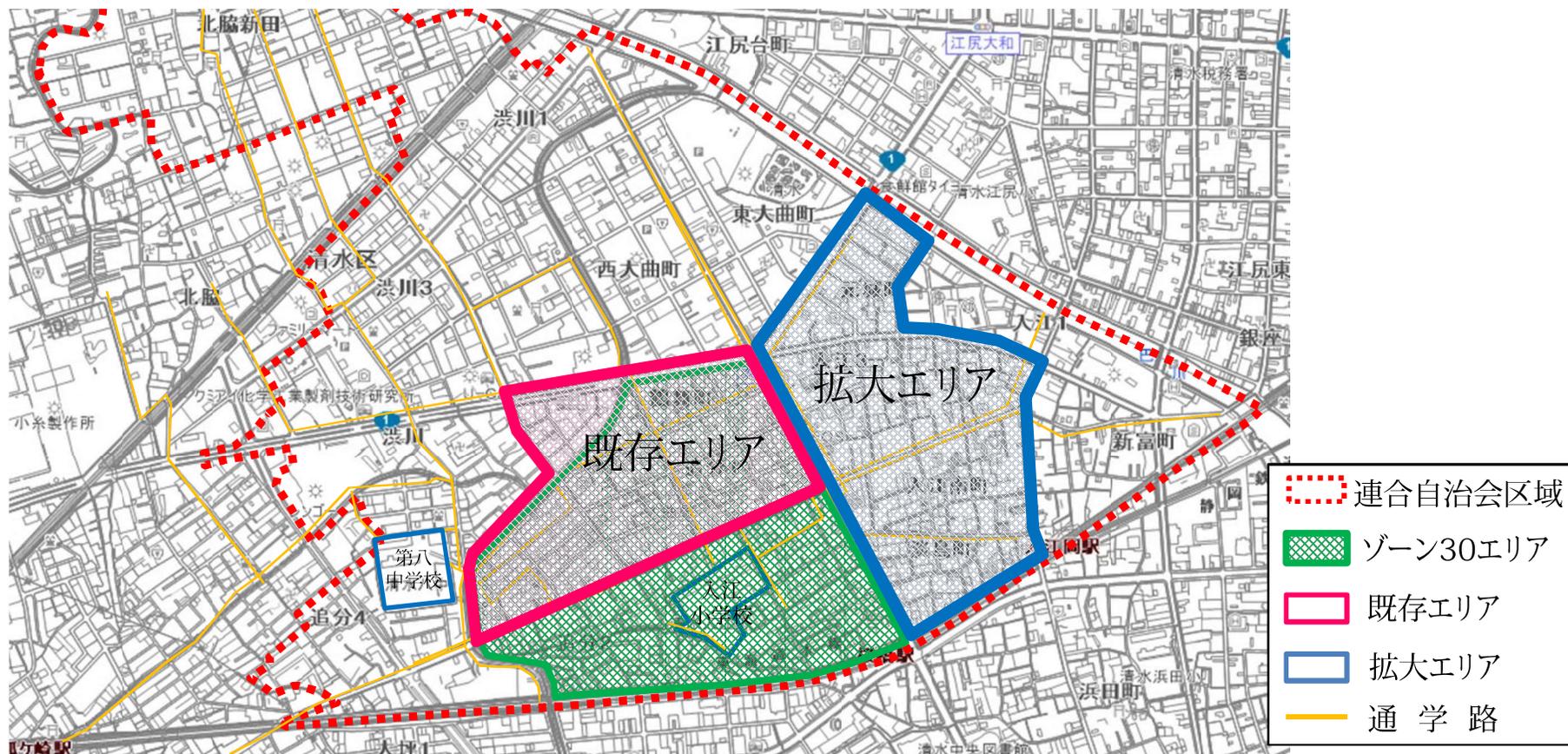
- 入江南町、淡島町、入江二丁目、入江三丁目、元城町を拡大エリアの候補箇所 (案) とする。→ **面的な対策**
- その他箇所は個別対策を検討・実施する。→ **局所的な対策**



議題(5) 対策エリアにおける今後の方針 について

1. 今後の方針

- 既存エリアに加え、拡大エリアを「新たな生活道路対策エリア」として登録します。
- 入江地区生活道路安全対策協議会を継続し、入江地区全体の安全対策に取り組めます。



1. 今後の方針

- 平成31年度は、既存エリアの対策実施、効果の確認を行うとともに、拡大エリアの本格運用に向け、社会実験を実施します。
- 平成32年度は、既存エリアの対策実施、モデル地区全体の効果確認を行うとともに、拡大エリアの対策を実施します。

平成31年度



- (STEP1) 既存エリア
- 既存のエリア対策を継続実施します。
 - 対策箇所の効果を確認します。
- (STEP2) 拡大エリア
- 現地の状況を確認します。
 - 協議会にて対策方針を検討します。
 - 対策に向けた準備を行います。

対策実施・確認

対策の拡充
社会実験の実施

平成32年度以降

- (STEP1) 既存エリア
- モデル地区全体の効果を確認します。
- (STEP2) 拡大エリア
- 対策を実施します。

対策の継続

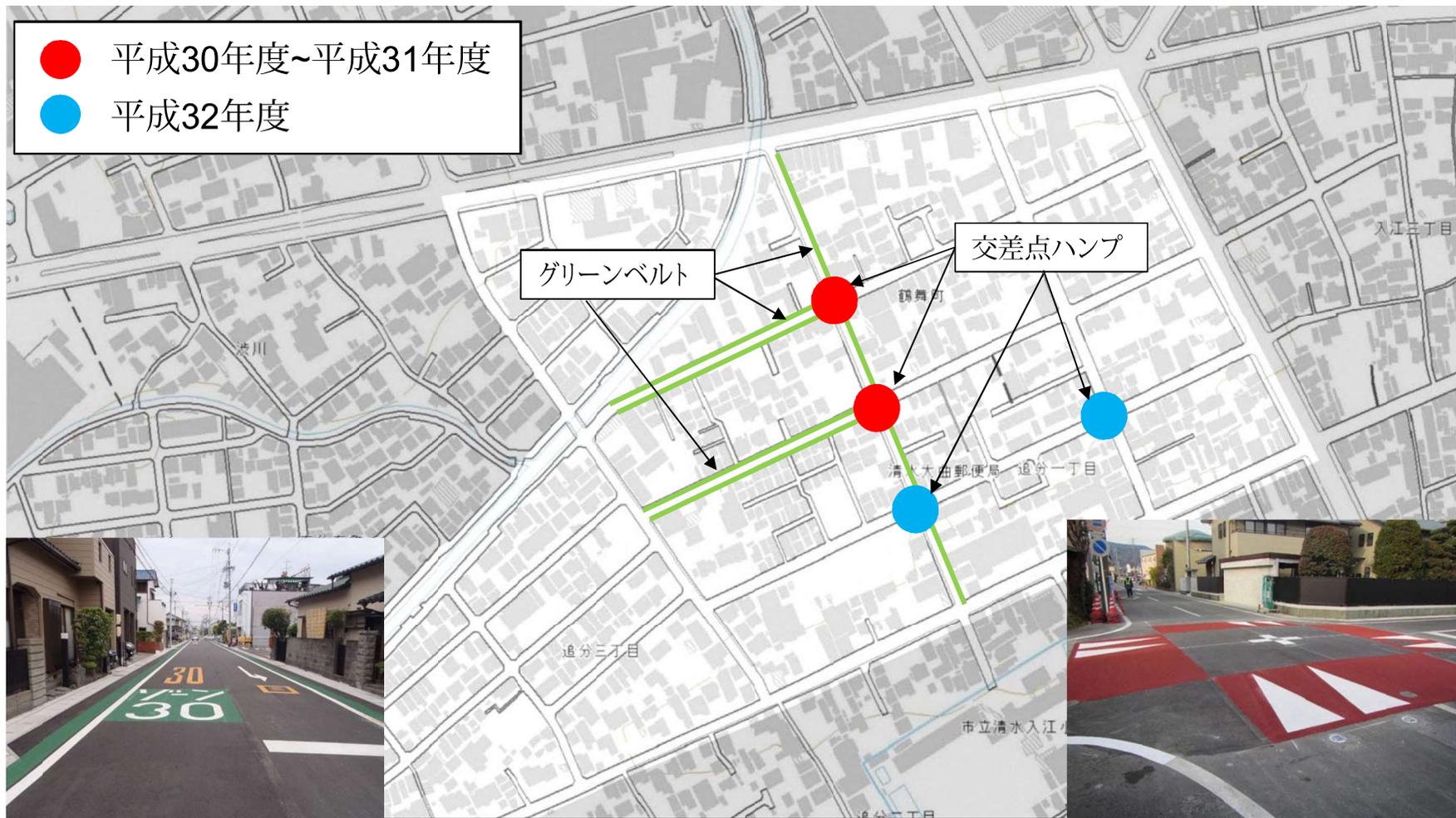
2. 対策エリアのスケジュール

○隣接工事との工程調整を図りながら、対策を実施していきます。

		H30年度			H31年度												H32年度以降								
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
桜橋架け替えに伴う交通規制									H31年8月～																
入江地区生活道路安全対策協議会		第6回				第7回 予定												第8回 予定							
既存 エリア	下水道工事に伴う交通規制	H30年11月～						H31年10月～						H32年7月～											
	H30年度対策箇所(2箇所)	発注・契約			対策実施																				
	H32年度対策箇所の確認																								
	関係機関との調整					対策内容における警察協議						他事業工事との調整													
	沿線の方への説明			整備内容の説明														整備内容の説明							
	設計・契約																発注準備								
	対策実施																					交差点ハンブ設置			
	効果検証及び調査	従前調査					変形量調査		(国総研)効果検証調査														(国総研)効果検証調査		
	道路改良工事に伴う交通規制	H30年11月～																							
拡大 エリア	拡大エリアの確認																								
	国へのエリア登録		エリア登録																						
	交通管理者との調整		「ゾーン30」規制の要望				対策内容における協議						「ゾーン30」規制の整備												
	現況把握	現地点検・車両動向調査				車両動向調査・評価						車両動向調査													
	対策方針の検討	対策内容の検討・提案																							
	対策方針の決定																								
	設計・契約																								
	対策実施					本格運用に向けての社会実験						対策の実施													

3. 既存エリアについて

○近隣工事との調整を図りながら、工事を実施していきます。



【対策内容】

・交差点ハンプ

・道路自発光鋌

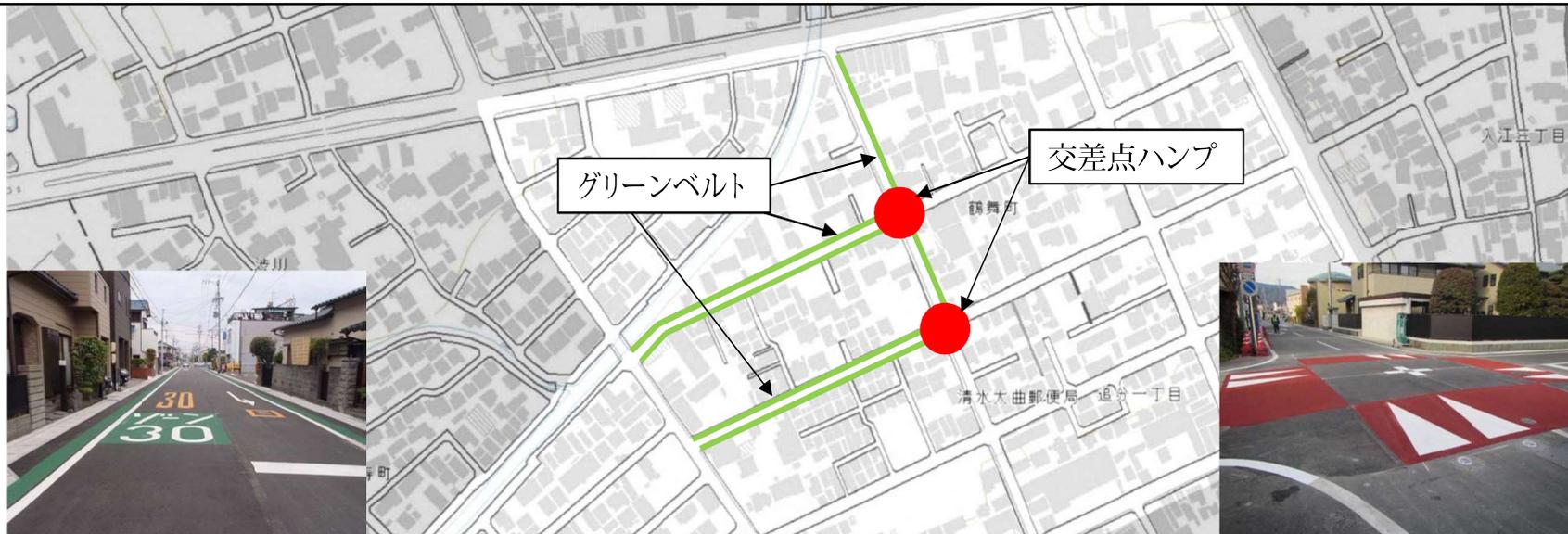
・グリーンベルト

・道路照明灯

議題(6) 今年度対策箇所について

1. 平成30年度対策内容

- 交差点ハンプ (2箇所) 設置
- 道路自発光鋏の設置
- グリーンベルトの設置



2. 交差点ハンプ箇所 対策前調査概要

○ 平成30年9月・10月に本格設置前の状況を確認するため、走行速度調査を実施

(調査概要)

- 調査内容 : 交差点付近を走行する車両の速度をスピードガンを用いて計測
- 調査日 : 北側 平成30年10月3日(水)
南側 平成30年9月28日(金)
- 調査時間 : 6時間調査
朝: 7:00~9:00 (2時間)
昼: 11:00~13:00 (2時間)
夕: 17:00~19:00 (2時間)

(配置図)



(調査状況)

▼北側調査の様子



▼南側調査の様子



3. 交差点ハンプ箇所 対策前調査結果

- 対策前では南北方向の走行速度が30km/hを超過
- 特に北側交差点の速度が高い

